

連合

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No. 34
2024

目次

巻頭言

弁理士連合クラブ幹事長	梶 俊和	2
-------------	------	---

ご挨拶

日本弁理士会会長	鈴木 一永	4
日本弁理士クラブ幹事長	本多 敬子	6
西日本弁理士クラブ幹事長	藤田 典彦	8
弁理士同友会幹事長	茜ヶ久保公二	10
弁理士クラブ幹事長	濱田百合子	11

会務報告

日本弁理士会副会長	吉田倫太郎	13
日本弁理士会副会長	瀧澤 匡則	15
弁理士連合クラブ副幹事長	井上 誠一	17
弁理士連合クラブ副幹事長	笹野 拓馬	18
弁理士連合クラブ副幹事長	高下 雅弘	19
令和5年度弁理士連合クラブのあゆみ		20
総務委員会		22
政策委員会		23
企画委員会		24
役員協議委員会		26

親睦会報告

第31回連合旅行会・ゴルフ大会		27
-----------------	--	----

資料

令和5年度弁理士連合クラブ役員		32
弁理士連合クラブ歴代役員		34
弁理士連合クラブ会則		60
弁理士連合クラブ慶弔規則		63
「特別寄付金」を求めるときの運用基準		64

編集後記		65
------	--	----

表紙「題字」山川 政樹 「写真」－MIRAI TOWER (旧・名古屋テレビ塔)－ 笹野 拓馬

活気溢れる新知財時代へ

弁理士連合クラブ幹事長
梶 俊和



機関誌「連合」No.34の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

幹事長を拝命した令和5年は、ようやくコロナ禍に対する緊張感も和らぎ、人々が日常を取り戻し始めた一年でした。新型コロナが5類に移行し、感染者の多くが軽症で済むようになり、街にはオーバーツーリズムとも呼ばれる程に人が溢れるようになりました。令和4年が「ウィズコロナ元年」であるとしたら、令和5年はまさに「アフターコロナ元年」と言えるでしょう。

弁理士連合クラブの令和5年は、2月の第1回幹事会・定時総会で本格的なスタートを切りました。今年度は、まず連合クラブ内及び三派の連携、密な情報共有、協力を軸に各種事業を進めようと考えました。手始めとして、LINEの手軽さと即時性を利用し、連合クラブ正副LINEグループ、連合クラブ内幹事長（同友・弁ク・連合）LINEグループ、三派幹事長（日弁・西弁・連合）LINEグループを作成、手軽にいつでも連絡と情報共有ができるようにしました。小さいことですが、情報伝達や判断の迅速化においてかなり効果を発揮しました。

3月には4年振りの開催となる新旧役員慰労・激励会（名古屋／大阪）が実施され、久しぶりの大人数での懇親会に懐かしささえ覚えました。日本弁理士会役員会との意見交換会も3月に開始、年度内に数回開催されました。6月～9月の旅行シーズンには、6月の日弁旅行会（鎌倉）、7月の西弁旅行会（福岡）に連合クラブからも多数参加させて頂きました。いずれの旅行会も盛り沢山で、参加者数も例年にない大人数であり、とても楽しい旅行会でした。このような場でリアルに直面して懇親を深め、既知の仲間と旧交を温め、新しい仲間と知り合うこと、コロナ禍を経て改めてその大切さを実感しました。9月には連合クラブ主催の旅行会を名古屋開催としました。詳細は委員会報告に委ねますが、参加者数も100名を超え、大盛況でした。

9月に始まった今年の日本弁理士会役員定時選挙は、会長選挙こそなかったものの、波乱含みの展開となりました。当初は、副会長、常議員関東選挙区、常議員関西選挙区が定数+1となり、投票選挙の様相を呈していましたが、投票選挙の準備、他会派との協議を続けた結果、連合クラブ推薦の全候補者について当選を得ることができました。これにつ

いても詳細は委員会報告に委ねますが、連合クラブ会員の皆様のご協力にお礼を申し上げます。

11月及び12月には、今年100周年を迎えられた弁理士春秋会、稲門弁理士クラブの記念行事が開催され、弁理士連合クラブを代表して挨拶をさせていただきました。また、日弁当選祝賀会に連合クラブから多数参加し、弁理士連合クラブ当選祝賀会も開催し、多くの来賓の方にお祝い頂きました。

今年一年を振り返って改めて実感するのが、「情報共有と率直な意見交換の重要性」です。そして、「三派協力体制の大切さと有り難さ」です。とりわけ、三派で協力して日本弁理士会を支えるという意識を持つことは、今後益々知的財産制度の重要性が高まり、課題が複雑高度化する将来において、非常に大切であると改めて感じるところです。

最後に、三派体制のもと、楽しく厳しく事業運営にご協力頂いた日本弁理士クラブ幹事長本多敬子先生、西日本弁理士クラブ幹事長藤田典彦先生に心より御礼を申し上げます。総会や事業運営に際して正副会合にていつも相談させて頂いた副幹事長井上誠一会員、笹野拓馬会員、高下雅弘会員、そして、総会、旅行会、役員選挙、祝賀会、政策検討等、各種準備やまとめを担当頂いた各委員会委員の方々にも心より感謝を申し上げます。

鈴木一永会長始め日本弁理士会役員の方々には、一年間種々ご指導とご協力を頂いたことに心よりお礼を申し上げるとともに、今後のご活躍と弁理士会の発展にご期待申し上げます。そして、次年度の弁理士連合クラブが、笹野幹事長のもと益々存在感を

高め、活気溢れる事業活動を展開されることに期待しつつ、本稿を締めたいと思います。



就任2年目のご挨拶



日本弁理士会会長
鈴木 一永

令和6年4月1日より、日本弁理士会会長に就任して2年目に入りました。日頃より、日本弁理士会の会務にご理解とご協力をいただき心から御礼申し上げます。

さて、令和5年度は、新型コロナの位置づけが2類相当から5類相当に緩和されたことを契機として、日本中で社会生活スタイルをコロナ前の状況に戻す様な各種の取り組みが行われました。かかる中、日本弁理士会としては「将来の安定性を確保するための礎を築きます!」というスローガンを掲げて、各政策を進めて参りました。本年度は、前年度の活動を踏まえつつ、中長期的に持続可能で安定した弁理士業務を確保するため、引き続き会の土台となる礎を築きつつ、特許庁をはじめとした知財関連団体との関係をより強固なものとして、弁理士人材の育成・強化を図って行きたいと考えております。

尚、本稿の作成時には、令和6年度の事業計画が確定していないため、実際には、以下の事業計画案と異なる点が生じる可能性があることをご了承ください。

1. はじめに

昨年度は、「特許庁等の関連団体との連携」、「知財創造教育の強化」等をはじめとした既存施策

の5項目、「情報収集・分析」、「事業の棚卸し」等をはじめとした新規施策の5項目を重点施策として種々の活動を進めて参りました。この活動を踏まえつつ、本年度はその活動を引き継いで、以下の10項目の重点事項を中心とした施策を実行していきたいと考えております。

2. 重点施策の項目

- (1) 「知財経営支援ネットワーク」の構築強化に向け活動を推進します。
- (2) 生成AI時代における弁理士の業務を模索します。
- (3) 弁理士の活躍が期待されている業務への対応
- (4) 農林水産分野における取組を強化
- (5) 知的財産の国際的な保護・活用の促進
- (6) 知財関連情報収集とその分析
- (7) 2025年大阪・関西万博での取り組み
- (8) D & Iの取り組み
- (9) キッザニアの取り組み

3. 各重点施策の内容

- (1) 令和5年3月に、特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）、日本商工会議所及び日本弁理士会の四者により、「知財経営

支援ネットワーク」の構築に向けた共同宣言を行っております。昨年度はこの共同宣言を契機として、特許庁及び各地域の経済産業局、各地の商工会議所、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）、及び日本弁理士会各地域会の各組織間の情報交換を密にすることに注力してまいりました。本年度は、構築されたネットワークを活用することにより、各地域の中小企業、ベンチャー・スタートアップ企業への知財支援を各地域の実情に合った形ですすめていく所存です。

- (2) 生成A I時代における新たな環境への弁理士業務の適応が急務であることに鑑み、引き続き情報収集を行うとともに、A Iに関する種々の研修を開催します。また、生成A Iの利用にはリスクがあることに鑑み、利用に係る指針の策定に向けて準備を進めます。
- (3) 標準化戦略人材や企画開発・交渉人材として、弁理士の活躍が期待されていることから、引き続き関係省庁との意見交換を行うなどして、弁理士が活躍するための具体策を提案します。
- (4) 農林水産分野における取組を強化するため、引き続き関係省庁との意見交換を行うなどして、弁理士が活躍するための具体策を提案します。
- (5) 弁理士の強みの一つとして、海外進出支援など、グローバルなビジネスサポートができることが挙げられます。この弁理士の強みをより強化すべく、国際関係活動の拡充を進めます。
- (6) 令和5年度に収集した情報の整理、蓄積方法等を検討します。また、情報収集の目的、情報収集ルートの確立、収集した情報のデータベース化等を検討します。
- (7) 2025年大阪・関西万博の共創パートナーと

して、その開催に向けて、関係官庁、関連団体等の外部団体との連携及び協力を強化します。また、外部に対して、日本弁理士会の万博支援に関する周知活動を引き続き行います。

- (8) 昨年に引き続きD & Iを推し進める活動を行います。
- (9) 令和6年3月にキッザニア東京での弁理士ウィークを実施いたしました。本年度も引き続き、キッザニア福岡、キッザニア甲子園での弁理士ウィークの実施を実現していきたいと考えております。

以上に示した重点施策以外にも、従前から行っている各地域会での事業を進めて参ります。また、弁理士法人への弁理士以外の者からの出資禁止規定、周旋禁止の規定等の検討、弁理士法をはじめとする弁理士会関連諸規定の整備を検討していきたいと思っております。かかる事業を進めるためには、会員の皆様に各事業の必要性をご理解いただき、ともに実行していただくことが不可欠であると考えております。そのためには、広く役員会内外から集まる各種の情報を会員の皆様と共有し、ともに考え、ともに実行していきたいと思っておりますので、今まで同様ご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

以上

コロナ禍を経てリアルに。



日本弁理士クラブ幹事長
本多 敬子

1. はじめに

令和5年度日本弁理士クラブ幹事長を拝命いたしました本多敬子です。

私の任期も残すところあと数日となりました。この一年間、梶幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの皆様には様々な場面で一緒にさせていただき、大変お世話になりました。本誌面をお借り致しまして心より御礼申し上げます。

本年は、5月8日に新型コロナが2類相当から季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行されたことを受け、貴クラブの皆様ともリアルにお目にかかれる機会が増えた一年でもありました。以下にご一緒させていただきました活動の一端をご紹介します。

2. 弁理士連合クラブの皆様と

ご一緒させていただいた主な会合・行事

(1) 次年度人事検討委員会

私が日本弁理士クラブ幹事長に就任後、弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブの三派で執り行う初めての共同作業が、1月16日に第1回が行われました次年度人事検討委員会でした。日本弁理士会の委員会人事を検討する委員会ですが、主に会派のご協力を頂いて4月から始まる次年度の付属機関、委

員会などの人事推薦を行う委員会です。今年度は4月より日本弁理士会の会長が杉村会長から鈴木会長に代わるため、次年度会務検討委員会の人事に対するお考えを確認させていただきながら推薦を行って参りました。

(2) 現役員慰労会・新役員激励会

本年度は3月10日の昼に東海協議会主催の名古屋での慰労・激励会、同日の夜に西日本弁理士クラブ主催の大阪での現役員慰労会・新役員激励会が開催されました。コロナによって自粛の時期が続きましたが、今年度は久しぶりに開催いただき、東海協議会の皆様、西日本弁理士クラブの皆様に直接お目にかかり、お話できる嬉しい機会でした。制限ある中で色々気を配りながらご準備くださった先生方のご苦勞はいかばかりであったかと拝察いたします。

(3) 旅行会

三派の旅行会も昨年よりコロナ対策をしながら開催されるようになりました。今年度は感染に留意しながらも、より規制の少ない中で実施することができました。

6月に日本弁理士クラブ、7月には西日本弁理士クラブ、9月に弁理士連合クラブの旅行会がそれぞれ

れ趣向を凝らしたスタイルで行われました。逗子マリーナで行いました弊クラブの旅行会には多くの貴クラブの皆様にご参加いただき、三次会までお付き合いいただきました。改めて御礼申し上げます。

貴クラブの旅行会は、名古屋でバーベキューというこれまでにない旅行会でした。解放感ある屋外テントの下、オレンジ色の空が少しずつ暗くなっていく中でビール片手にいただくバーベキューの味は格別で、わいわいと話しながら楽しい時を共に過ごさせていただきました。

(4) 日本弁理士会役員選挙当選祝賀会

11月30日に日本弁理士クラブが、翌12月1日に弁理士連合クラブが当選祝賀会を行いました。梶幹事長、西日本弁理士クラブの藤田幹事長におかれましては、弊クラブの祝賀会にてあたたかいご祝辞を賜りましたこと、感謝申し上げます。

令和6年度の日本弁理士会役員選挙におきましては、日本弁理士クラブが常議員候補を1名おろすことにより、副会長・関東常議員は、無選挙にて次年度にむけて役員を送り出すことができました。厳しい局面もございましたが、梶幹事長をはじめ貴クラブの選挙担当の皆様におかれましてはギリギリまで協議に応じいただきました。ありがとうございました。

(5) 日本弁理士会との意見交換会

令和5年度の役員選挙において、日本弁理士クラブは、現鈴木会長を会長候補として擁立し、弁理士連合クラブからもご推薦いただきました。当時、私は政策委員長として政策作成にも関わらせていただきましたが、貴クラブより政策についての忌憚ないご意見をいただいける場があったことは、大変貴重な機会であったと感じておりました。

今年度も政策について話し合う機会を、貴クラブ、西日本弁理士クラブ、日本弁理士会役員会のご協力により、3月、8月、11月に設けることができました。役員会が直面している課題を共有させていただき、限られた時間ではありましたが、意見交換もさせていただきました。次年度以降もこのような機会を数多く持てることを願っております。

3. むすび

思い返してみますと、貴クラブの皆様と共に参加させて頂いた会合・行事が上記以外にもいくつもありました。コロナ禍を経て、改めて、共に過ごしながら胸襟を開いて話し、打開策を練り、理解し合うことの楽しさ・有難みを感じることができた一年間でした。

今後とも、弁理士の、日本弁理士会の、知財制度の、明るい未来に向かって、日本弁理士クラブに対するより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げつつご挨拶とさせていただきます。



会派の重要性と会派の枠を超えた 日本弁理士会の運営



西日本弁理士クラブ幹事長
藤田 典彦

令和5年度の西日本弁理士クラブ幹事長を務めております藤田典彦です。この度は、貴クラブの機関誌に掲載させて頂くことを光栄に感じております。

先ずは、本年9月に開催された貴クラブの旅行会に小生および弊クラブの幹事会関係者を招待頂き、ありがとうございました。非常に有意義な時間を過ごすことができました。令和元年より続くコロナ禍から徐々にリアルな親睦の場が復活し、様々な先生方と直接ご面談できる機会が増えることはありがたい、今後もこのような懇親の場が増えていくことを願っております。

一方、コロナ禍でウェブ面談等の機会が増加したことは、地方の会派にとって日本弁理士会の会合に容易に参加できるようになりました。これは西日本を中心とする地方会員である我々のみならず、東北・北陸・東海などの先生方にとっても同じと思います。会務運営においてリアルな面談が必要な部分と、ウェブ方式で出席が可能な部分を精査すれば、より地方の会員にとって会務運営に携わることができる機会が増加し、活性化できるものと確信しています。

さて、ここから小職の個人的な希望を述べさせていただきます。

現状、貴クラブ、日本弁理士クラブ、そして、弊クラブの三派の協力が日本弁理士会を下支えしていることは明らかな事実です。各会派が個々の会員と横の繋がり、縦の繋がりを持ち、各会派間で交流し、会務活動に優秀な人員を輩出しています。これは会派という役割が非常に有効に機能していることを示すものです。

その一方で、現状の弁理士業は様々な困難に直面しています。会派間で意見調整することも大事と思いますが、これらを打破していくためにも一度会派間を超えて各派の優秀な人材が日本弁理士会の現状、問題点、将来像を話し合う場ができれば、継続した会務運営を下支えし、より困難な問題にも長期的展望で解決できるものと考えております。

但し、これは簡単なようで難しいことと考えております。かかる優秀な人材が集まる場が下支えになれば心強いのですが、下支えの枠を超えることもあり得ます。会務は民主的な決議によりなされることが原則ですので、かかる優秀な人材が集まる場は良識を伴った場にしなければなりません。また、矛盾するようですが私は上記のとおり会派は重要な基盤

組織であると認識しております。かかる優秀な人材は会派の枠を超えて話し合いができる人材であるので、会派からの信頼が必要となります。

つまり、会派から信頼され、良識を伴いバランス感覚に優れ、会務活動に精通した人材が今後の日本弁理士会の重責を担って頂ける場ができることを切に希望致します。

過去から現在に至るまで貴クラブの諸先生が日本弁理士会の重責を担って頂いていたことに深く敬意を表しております。弊クラブとしても日本弁理士会の重責を担えるように優秀な人材を輩出できるようにしたいと考えております。

最後に、本年度ともに幹事長をなされた貴クラブの梶俊和先生、日本弁理士クラブの本多敬子先生に深く感謝申し上げます。両先生はとても話やすく、難しい問題などを率直にお話しできたことで、スムーズな意見調整ができたと思います。若輩者の小職が様々な場を乱してしまったかもしれません。両先生がおられたおかげでなんとか1年間職務を全うすることができました。本当にありがとうございました。

以上



今年1年を振り返って



弁理士同友会幹事長
茜ヶ久保 公二

令和5年度弁理士同友会幹事長を務めさせていただきました茜ヶ久保公二です。

本年度は、コロナ禍が収束し、通常の会務活動がすべて開催できたことは、我々弁理士業界にとって大きな前進でありました。特に、コロナ禍において定着したオンライン会議をうまく利用して、オンラインとオフラインを上手に使い分けて会務活動を円滑に行うことができるようになった年であったと感じております。

弁理士連合クラブの定時総会をかわきりに、本年度の会務が始まりました。弁理士連合クラブの各種役職の推薦に当たっては、弁理士同友会の会員は皆快く役職をお引き受けくださり、弁理士連合クラブ執行部全体としてもよい布陣でスタートをきれたのではないかと思います。

5月には日本弁理士クラブの旅行会が鎌倉・逗子で、6月には西日本弁理士クラブの旅行会が福岡で、さらには9月には弁理士連合クラブの旅行会が名古屋で開催されました。このように3派の旅行会が通常通り開催され、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブの3派の交流が年度を通じて行われたことも大変実り多いものとなりました。

弁理士連合クラブ旅行会では、企画委員の先生方が充実した旅行企画と運営をしてくださり、特に、

BBQ形式での懇親を図るといった斬新な企画は、9月の陽気も相まって、大変気持ちよく過ごすことのできた思い出となりました。

臨時総会にて次年度の日本弁理士会役員候補者が決まり選挙の体制が整いました。立候補届出提出期間となると、副会長、常議員関東会選挙区及び同関西選挙区の候補者は定員より多い立候補となりました。その間、連日にわたり弁理士同友会そして弁理士連合クラブでの意見交換、弁理士連合クラブと日本弁理士クラブとの調整がなされ最終的に選挙戦回避に向かうことができましたこと、梶幹事長をはじめ多くの方のご尽力があったことにこの場を借りて心より感謝を申し上げます。弁理士同友会推薦の候補者全員が当選し、感謝しております。

最後に、一年を通じて弁理士連合クラブ幹事長・梶俊和先生をはじめ正副幹事長の先生方には、適時的確に情報を提供いただき、円滑な会務運営ができましたこと、深く感謝申し上げます。

また、構成会派である弁理士クラブ幹事長の濱田百合子先生とは、種々の問題に対して円滑な情報交換及び意見交換ができ、会務運営において大変心強かったこと、ここに感謝申し上げます。

交流の場復活の年



弁理士クラブ幹事長
濱田 百合子

令和5年度弁理士クラブ幹事長を務めさせていただきました濱田百合子です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言御礼とご挨拶を申し述べさせていただきます。

今年は、コロナ禍による行動制限が事実上の終焉を迎え、アフターコロナにおける会務運営や会派活動の在り方を模索する年でした。そのような模索の状況下でも、何とかこの一年を乗り切ることができましたのは、弁理士連合クラブ及び弁理士同友会の役員の方、さらには弁理士クラブの多くの先生方のお陰であると実感しています。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

3月上旬に行われた東海協議会及び西日本弁理士クラブの「現役員慰労会及び新役員激励会」を皮切りに、今年は様々なリアル会合が開催され、この数年なかなかお会いできなかった方々と久々の交流が実現できました。十派幹事長会も複数回開催され、各会派の先生方との交流も進みました。また、三派の旅行会も、6月に日本弁理士クラブが鎌倉で、7月に西日本弁理士クラブが博多で、9月に弁理士連合クラブが名古屋で、それぞれ開催され交流が深まりました。さらに、選挙報告会もリアルで日本弁理士クラブ及び弁理士連合クラブでそれぞれ行われま

したし、弁理士協同組合50周年、弁理士春秋会100周年、稲門弁理士クラブ100周年等、複数の周年行事も活発に行われました。本当に今年はコロナ前に行われていた様々な行事が復活し、様々な交流の場が増えました。このような交流の場の復活は、これからの日本弁理士会の発展に大いに寄与するものと確信しています。

日本弁理士会の役員定時選挙では、立候補届の提出の段階で、副会長及び常議員の立候補者数が定員をそれぞれ1名オーバーしていましたが、副会長選に関しては、撤回期限直前に会派に所属していない立候補者が立候補を撤回したため副会長選は回避され、また、関東地区の常議員に関しては、三派で事前に意見交換等が行われ、日本弁理士クラブ所属の先生に立候補を撤回していただき、関東地区の常議員選を回避することができました。弁理士連合クラブの役協担当の先生方に多大なご苦勞をおかけしたものと感じております。改めて御礼申し上げます。

また、9月に行われました弁理士連合クラブの旅行会では、一日目と二日目の両方に大変楽しいオプションツアーをそれぞれ企画いただき、とても参加しやすい旅行会となりました。さらに名古屋で開催されたことから、東海地区の先生方にも多数参加

いただくことができましたし、他会派の先生方にも多数参加いただけて、大変盛大な旅行会・親睦会となりました。非常に貴重で有意義な旅行会であったと実感しています。

この一年間、弁理士クラブの幹事長として弁理士連合クラブに関わらせていただきましたが、これにより、より一層弁理士連合クラブ内の連携の必要性、さらには他会派との意見交換を含めたコミュニケーションの必要性を大きく感じるとともに、三派の相互の協力により日本弁理士会がより良く運営されていることをさらに実感することになりました。日本弁理士会のさらなる発展に向けて、微力ながら、弁理士連合クラブの活動に今後も積極的にかかわっていきたいと考えております。

最後になりましたが、梶幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの役員及び委員の先生方、さらには茜ヶ久保幹事長をはじめとする弁理士同友会の先生方には本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。



会務報告



日本弁理士会副会長
吉田 倫太郎

1. はじめに

弁理士連合クラブの会員の皆様におかれましては、日頃より、ご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。弁理士連合クラブのご推薦を戴き、令和5年度日本弁理士会副会長を仰せつかっております、吉田倫太郎です。

令和5年度の日本弁理士会は、将来の安定性を確保するための礎を築くことをスローガンに挙げており、これからの中長期において、知財業務を活性化させ、組織を強化し、弁理士人材を育成・強化することを事業計画とし、皆様のご協力・ご支援を頂戴しながら、事業計画の実行に務めております。

令和5（2023）年は、コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に引き下げられ、2019年以降制限されていた社会活動・経済活動が広く開放された年でした。日本弁理士会の各附属機関・委員会等ではウェブを通じたオンライン会議に加え、ハイブリッド会議も増え、参加しやすいかたちで会務活動をしていただくとともに、リアル会議も開催していただきウェブ会議では難しい議論を会員の皆様の間で議論が活発に行っていたことと感じております。

余すところ僅かではございますが、ここでは令和5年度の会務報告をさせていただきますとともに、3月末まで引き続きご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

2. 会務報告

【研修所】

今年は、研修所所長、11名の副所長、88名の運営委員にご協力をいただきました。「実務修習部」、「実務養成研修・弁理士育成塾・知財ビジネ

スアカデミー運営部」、「継続研修企画・運営部」、「継続研修管理部」、「継続研修審査部」、「能力担保・倫理研修部」のそれぞれの部会では、それぞれの研修の特性に合わせて、オンライン研修、ハイブリッド研修、リアル研修の検討及び開催にご尽力いただいております。

今年は特定侵害訴訟代理業務の付記制度が発足して20年目の年です。そのこともあり、能力担保研修の発足にご尽力いただき弁理士、法曹（弁護士、判事など）の方々にお集まりいただき懇談会を開催いたしました。さらに、来年度の完成を目標に、能力担保研修で利用する映像教材の刷新も行っております。

研修所では、会員の皆様が研修を通して弁理士としての能力研鑽のために、基礎から応用までの幅広い弁理士業務をテーマにした研修を開催しております。それだけでなく、社会が弁理士に期待している、知財評価、知財コンサル、新しいテクノロジー等のテーマを研修所の担当部会が選定し、多くの会員のためになる研修を多く企画しております。引き続き、よろしくお願いします。

【継続研修履修状況管理委員会】

継続研修は弁理士会会則（会則第17号）57条に規定されており、具体的な手続は、継続研修履修状況管理規則（会令第89号）及び継続研修実施細則（内規第94号）に規定されています。

研修期間内に所定の研修単位を履修しなかった者には受講勧告書が送付され、説明書の提出が認められ、やむを得ない理由がある場合には保留期間内に不足分を履修することにより受講完了とな

ります。他方、保留期間内に履修完了しないなど
の場合には、処分予定通知が送付され、弁明書の
提出が認められます。

病気等で履修が困難な場合には、前述したよう
な救済措置（やむを得ない理由、保留期間）がご
ざいます。救済措置の対象となるか否かについて
は、会員課にご相談ください。

【防災会議】

本年度は、防災訓練の検討・実施、防災マニ
ュアルや災害時の行動に関する to do リストの随
時見直し、防災備品の検討・整備及び日本弁理士
会の災害時用 HP の改善等を行っています。

今年は、関東大震災発生から100年目となりま
す。また今年の5月は、各地で大きな地震が発生
しており、6月・7月は、地震の他にも、線状降
水帯が九州、中国、四国地方等に亘って連続的に
発生し、大雨による土砂災害、河川の氾濫等が発
生いたしました。防災会議では、その都度、災害
地域における会員の安否確認の要否を検討し、必
要により対象会員への安否確認を行っています。
防災意識を会員に意識していただけるような事業
を進めております。

【弁理士推薦委員会】

外部の他の団体などから弁理士の推薦の依頼を
受けた際に、推薦依頼要項に応じた募集を行い、
適任の弁理士を推薦する活動を行っています。

弁理士推薦委員会を担当しておりますと、特許
庁、裁判所、その他の外部団体から弁理士に対す
る期待が大きく、知財に対する興味が強いことを
感じます。日々、弁理士としての業務に努めてい
ますと、弁理士業務のみにとらわれるのではなく、
広い視野をもって、多くの社会的な期待に応えら
れる道筋を見つけるヒントが得られるという点で
とても有意義な委員会です。

【東北会】

東北会は、東北6県（青森県、秋田県、岩手県、
宮城県、山形県、福島県）に事務所を置く弁理士
によって構成されている、日本弁理士会の地域組
織です。89名（うち弁理士法人4、2023年5月
18日現在）の弁理士が所属しており、地域に根
差した知的財産権制度の普及に努めています。

東北会では、弁理士の存在感を向上させるため
に、東北会が主体的に実施する知的財産普及活動
を引き続き実施するとともに、東北各地での知的
財産相談会を開催しております。さらに、他の地
域会との連携及び交流を通じて、東北会の活動の
充実を図っており、地域会の発展のため、本会が
ご協力できることについては積極的に行っており
ます。

【会員活動活性化ワーキンググループ】

本年度の日本弁理士会では、重点施策の1つと
して会員活動の活性化を挙げており、このワー
キンググループはその活性化を実現することを目標
に立ち上げたグループです。これまで、会務活動
に参加していない会員に、委員会等への参加を促
進することを大きな目標としており、また継続的
に委員会等にご協力して頂ける仕組みを検討・企
画・実行しております。

このワーキンググループでは、多才な人材が日
本弁理士会の会務に積極的にご参加をいただける
環境を作ることで、中長期的な観点から、組織力
を強化し、弁理士人材の育成・強化につなげられ
るようにしたいと考えております。そのため、こ
のワーキンググループでは、全てのメンバーを公
募で募り、これまでにできなかった企画を積極的
に行っております。

3. おわりに

さまざまな附属機関・委員会に携わらせて頂きま
したが、会務活動は、会員の皆様のご協力の下で成
り立っていることを改めて感じました。弁理士の登
録者数は1万2千人台を割り込んでおり、平均年齢
は53歳となっております。弁理士は、日本の技術
や知財を支える中心的な役割があり、将来も同様に
その役割をしっかりと果たしていくために必要なこ
とを、そして今現在できることを、微力ながら進め
てまいりたいと存じます。残り少ない任期ですが、
今後とも、宜しく願い申し上げます。

以上

令和5年度の会務報告 ーコロナ明け元年ー



日本弁理士会副会長
瀧澤 匡則

1. はじめに

弁理士連合クラブよりご推薦をいただき、令和5年度の日本弁理士会副会長を務めさせていただいております、瀧澤匡則です。弁理士連合クラブの会誌「連合」の発刊にあたりまして、まだ任期の途中ではありますが、12月時点での令和5年度の会務報告を行いたいと思います。

小職は、正担当として、広報センター、弁理士法改正委員会、貿易円滑化対策委員会、産業標準委員会、総合企画政策委員会を担当しております。

小職の担当委員会だけでも多くの弁理士連合クラブの先生方にご協力いただいております、とても頼りにさせていただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

2. 活動状況について

コロナの感染者数等がだいぶ落ち着き、世の中の動きもコロナ前の状況に戻した方が良いものについては戻す、という流れになっているものと感じます。今年度の役員会も、元に戻した方が良いものについては戻しつつ、既に定着しつつあるウェブ会議等の便利なツールについては適宜継続して使用していく、という方針で各組織に活動のお願いをしております。

今年度の役員会のお願いの1つとして、外部の関連団体との積極的な連携を図っていただくことがございます。外部の関連団体との連携については、コロナ禍で関係が薄れたり途切れたりしているものが

あると伺っており、知財業界を活性化するためには、日本弁理士会と関係諸団体との連携が必須のものとなるためであり、この点については、多くの委員会等において特許庁をはじめとした関係団体と積極的に連携を取っていただいております。

【広報センター】

今年度の役員会も、日本弁理士会がどのような活動を行っているのかについて外部に発信していくことは非常に重要であり、今年度も多くの諮問・委嘱を行っております。

具体的には、記者説明会、テレビドラマ「それってパクリじゃないですか？」を利用した広報活動、取材対応等を行いました。それパクに関しては、7月1日の弁理士の日式典においてテレビ局関係者の表彰を行い、その様子が日本テレビのHPやX（旧Twitter）でも拡散されました。Xについては、表示回数が25万回を超えており、弁理士会単独ではなかなか達成することのできない数の方に見ていただくことができたのではないかと考えております。

また、前年度までの中長期的な広報戦略に基づく活動を振り返った上で新たな中長期的な広報戦略を立て、この戦略に基づいて年明けから活動を行っていきます。

また、例年の活動であります、イベント等において配布するノベルティの作成、SNSを利用した

広報、記者向けのメルマガの発行、パテント・アトニー誌の発行、はっぴょん通信の作成、各種展示会への対応等についても行いました。

3月には、キッザニアにおける弁理士ブースの開設も予定しております。

【弁理士法改正委員会】

弁理士法改正委員会では、直近の弁理士法改正への対応や、少し先まで見据えてどのような改正が今後必要になるのか？といった点の調査研究等を行いました。

例えば、GPT-4をはじめとする生成系AI等の最新の技術と弁理士・弁理士制度との関係を調査・検証し、課題を抽出する活動を行いました。その他、非公開特許関係や農水関係の課題の洗い出しや検討を行いました。

【貿易円滑化対策委員会】

貿易円滑化対策委員会では、例年に引き続き多くの外部関連団体に委員を派遣し、情報の収集を図りました。

また、今年度は、久々に水際手続きに関して東京税関とのリアルでの意見交換会を開催しました。さらに、外国における模倣品・海賊版対策についての情報収集及び会員への情報提供、個人輸入問題対応、e-コマース関連の情報発信等を行う予定です。

【産業標準委員会】

今年度も、標準化に関するコンサルティングの実施に必要な情報の収集、コンサルティングの実施、標準必須特許を利用した知財戦略の調査及び検討、産業標準に関する情報及び具体例の検討、会員向けセミナーの企画及び実施を行いました。

また、標準化に関する取り組みとして、委員長・副委員長をメンバーとした知財・標準化一体的活用検討WGを立上げ、複数回に亘り経産省との意見交換会を開催しました。意見交換及び意見

交換に基づく委員会の活動は、年明けも引き続き行っていく予定です。標準化に関して弁理士の活躍するフィールドが広がることが期待されます。

【総合企画政策委員会】

今年度は、弁理士報酬を上げるための方策の検討、総会の開催方法についての検討、弁理士業務についての弁理士報酬を当該業務に関わる無資格者等に不当に提供しない方策についての検討、年度をまたぐ事業の運用についての検討、を行っています。

総会の開催については、現状web開催の要件とされている「天災地変」の要件を削除し、「天災地変」に関係なく役員会の判断によってweb開催とできるよう改正を行う予定です。地方在住の会員等、リアルでの参加が困難な会員であっても容易に総会に参加できる環境が整います。

3.おわりに

ここ数年のコロナによる活動の制限等が解除され、久々に自由に活動ができることとなりました。より早くコロナ前の状況に戻し、それを超えていくべく多くの会員の皆様のご協力が必要です。会員の皆様方のより一層のご支援をよろしくお願いいたします。



今年1年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長
井上 誠一

弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかった弁理士クラブの井上誠一です。今年はコロナも5類に分類され、電車の中でマスクを着用する人も少なくなり、日常生活をかなり取り戻した感があります。旅行、パーティ、飲食等を行うことにも抵抗が少なくなり、3派の旅行会や日本弁理士会役員当選祝賀会等もコロナ前と同様にリアルで行われました。

弁理士連合クラブは、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブとともに3派で日本弁理士会を支える組織であり、私が副幹事長として担当した委員会は政策委員会と調整委員会です。政策委員会は日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行い、調整委員会は、弁理士同友会と、弁理士クラブとの間の諸所の問題について調整を行うことを目的としています。

今年、政策委員会は、役員会から検討事項を受け、それについて検討し回答しました。検討の対象は、大阪万博や、弁理士会の組織人事等に関するものでした。各検討事項について、弁理士連合クラブの政策委員会で審議して頂き、意見書を作成し回答しました。政策委員会の岸本委員長をはじめ政策委員会の先生方にご尽力いただきました。検討事項の回答後、役員会と3派とで検討事項についての意見交換が行われ、役員会は3派からの回答を参考にしつつ、会務執行を行うものと思われます。

調整委員会は対象となるテーマがなく特別の委員会活動は行われませんでした。

委員会以外に、私が携わったものとしては、逗子で行われた日本弁理士クラブ旅行会、日本弁理士クラブと弁理士連合クラブとの意見交換会、役員当選祝賀会への参加等です。日本弁理士クラブの旅行会は逗子で行われ、若いとき逗子マリーナに行ったことを思い出しました。意見交換会は数回リアル形式で行われ、従前なら旅行会等で話し合いの場を持ったりしていましたが、事前にきちんと相談の機会を得ることができ、日本弁理士クラブとの間で密な連携関係を取ることができました。

私事になりますが、私は本年10月に入院を余儀なくされ、8月頃から10月半ばまで、弁理士連合クラブの活動を十分に行うことができない時期が生じ、西日本弁理士クラブ旅行会、弁理士連合クラブ旅行会には参加できませんでした。梶幹事長、笹野副幹事長、高下副幹事長にはご迷惑をおかけしました。両旅行会とも盛況であったと聞いており、参加できなかったことが残念です。

今年副幹事長を務めて特に感じたことは、上述しましたが、日本弁理士クラブと弁理士連合クラブとの連携がうまくいっていたことです。日弁の先生方と何度かりアルでお会いして、意見交換を行い、活動をスムーズに進めることができたと思います。

最後になりますが、梶幹事長、笹野副幹事長、高下副幹事長の連合の活動に感謝するとともに、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

一年を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長
笹野 拓馬

令和5年度、梶俊和幹事長の下、弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかりました笹野拓馬です。今年度、企画委員会と研修委員会を担当致しました。

企画委員会は、①ホームページの維持管理、②旅行会の企画運営、③機関誌「連合」の発行が、活動の大きな柱になりますが、その中でも、とりわけ、大きな比重を占めるのは、②旅行会の企画運営です。

今年は、若手が参加しやすい場所で、かつ、多くの先生方に集まっていた頂き、わいわいと楽しむことができる懇親の場を提供することをテーマに検討を重ね、開催地を「名古屋」、宴会を、恐らく、弁理士連合クラブ初と思われる「バーベキュー」とし、チャレンジングな企画としました。

宿泊は、コロナ感染症の位置づけが5月に2類から5類に移行し、コロナ以前の生活に戻りつつある状況でしたが、昨年同様に、コロナ対策を意識して、ビジネスホテルで個室を原則とし、宴会・二次会は、全てバスによる移動としました。

また、弁理士連合クラブの旅行会は、宴会前の研修会が一つの特徴になっておりますが、今年は、正副幹事長会での検討の結果、研修会は行わず、1日目にも観光を実施するという、これまた、初であろう試みを行いました。

「名古屋」で、しかも、これまで実施したことがないバーベキューによる宴会や1日目の観光、加えて、全てバス移動と、不安だらけの旅行会の開催となりましたが、蓋を開けてみれば、宴会101名、二次会91名、宿泊81名、1日目観光27名と、大変多くの先生方にご参加していただき、盛大に旅行会を開催することができました。

ご参加いただきました先生方、ありがとうございました！この場をお借りして御礼申し上げます。

旅行会2日目は、例年どおり、観光とゴルフ大会を企画し、観光は、24名で、愛知工業大学（A I T）八草キャンパスにある「ロボット研究ミュージアム」を見学し、その後、トヨタ博物館を巡り、締め「蓬左亭」の「ひつまぶし」を堪能いただきました。ゴルフ大会は、愛知県豊田市にある「ロイヤルカントリークラブ下山コース」で開催し、27名という非常に多くの先生方にゴルフを楽しんでいただく事ができました。

旅行会を振り返ってみますと、いずれの企画も、非常に多くの先生方にご参加いただくことができ、心配していたバーベキューも評判がよく、バス移動も無事にうまく誘導することができ、スムーズに旅行会を運営することができたのではないかと思います。これもひとえに、企画委員をお引き受けいただいた、小田原先生、坂岡先生、小國先生、坂田先生、櫻田先生、美川先生、また、当日の運営にご協力いただきました会計の権正先生、ゴルフ幹事の小越先生の献身的なご協力のおかげです。ありがとうございました。

なお、①ホームページの維持管理と③機関誌「連合」の発行については、例年通り、粛々と作業を進めました。

研修委員会につきましては、上述のとおり、旅行会での研修会を行わないこととしましたので、実質的な活動は行いませんでした。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長としての役割を何とか果たすことができましたのは、梶俊和幹事長、井上誠一副幹事長、高下雅弘副幹事長、各委員会の先生方並びに弁理士連合クラブの会員の方々のご協力があったからこそです。ここに深く感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

一年間お世話になりました ありがとうございました



弁理士連合クラブ副幹事長
高下 雅弘

令和5年度弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかりました、高下雅弘でございます。管掌は、総務及び役員協議でした。

弁理士連合クラブ会則第19条によりますと、「総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。」また「役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。」とされております。令和5年度の総務委員会では、委員長には笹川拓先生、副委員長には権正英樹先生に、それぞれご就任を頂きました。また、令和5年度の役員協議委員会では、委員長には美川公司先生、副委員長には吉村俊一先生に、それぞれご就任を頂きました。

日本を含む世界全体が長い間新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に悩まされてきました。しかし、日本においても令和5年5月8日から「5類感染症」という位置づけになりました。これにより、新型コロナウイルス感染症に対する対応は、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組をベースとした対応に変わりました。令和5年度の弁理士連合クラブの運営は、このような状況の変化を踏まえつつ進められることとなりました。

上記の状況の変化をも考慮し、総務委員会におきましては、2月27日に第1回幹事会及び第1回定時総会が開催されました。また、その後数回の幹事会及び定時総会を開催し、日本弁理士会役員定時選挙候補者の推進や、次年弁理士連合クラブ役員の選任等の議案を諮りました。今年は、コロナ前定例となっていた役員慰労会・激励会が開催されたばかりではなく、日本弁理士クラブ様主催の旅行会や西日

本弁理士クラブ様主催の旅行会も開催されました。オンライン会議の定着により会務活動や会派活動は以前より便利になったと感じます。しかし、リアル会議には、コミュニケーション量の増加を含む、オンライン会議にはない多くの利点がございます。今後はオンラインのコミュニケーションとリアルのコミュニケーションをうまく組み合わせる時代が到来するものと思料致します。個人的には、久しぶりに活発となったリアルのコミュニケーションの重要性を再認識した一年間を過ごしました。

役員協議委員会におきましては、弁理士クラブから副会長候補者として立候補された今堀克彦先生、弁理士同友会から副会長候補者として立候補された大橋剛之先生をはじめとして、弁理士連合クラブ推薦の候補者が全員当選されたという結果を得ることができました。

日本弁理士会を支える会派として、私が所属している弁理士連合クラブを含む三会派がございます。今年は弁理士連合クラブの副幹事長としての活動を通して「三」というものの重要性について考えさせられる一年でした。古くから三国志で「天下三分の計」、日本でも例えば江戸時代の「徳川御三家」、最近でも例えば「受験校の御三家」と言われるように、「三」には不思議な意味やバランス感覚のようなものがあり、日本弁理士会においても三会派が存在しているのだと思うようになりました。この一年、梶俊和幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの先生方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、今後とも、引き続いて、弁理士連合クラブの活動へのご理解ご協力を賜れますようお願い申し上げます。

令和5年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2023.1. 1 ～ 2023.12.31)

総務委員会 委員長 笹川 拓

- 令和5年 1月10日 新旧役員引き継ぎ
- 1月16日 日本弁理士会次年度人事委員会／関東会次年度人事WG
- 2月 8日 日本弁理士会次年度人事委員会／関東会次年度人事WG
- 2月27日 第1回幹事会、第1回定時総会（オンライン）
事業報告、決算、事業計画、予算、人事報告等
- 3月 1日 日本弁理士会次年度人事委員会
第1回三派幹事長会合
- 3月10日 東海協議会／慰労・激励会
西日本弁理士クラブ／慰労・激励会
- 3月17日 日本弁理士会臨時総会
第1回10派幹事長会合
- 3月24日 日本弁理士会次年度人事委員会
- 3月28日 第1回連合・日弁合同政策検討会議
- 4月 7日 第1回連合クラブ正副幹事長会議（議題：旅行会開催について）
- 4月21日 旅行会検討会議（オンライン）
- 5月18日 第2回連合クラブ正副幹事長会議（議題：旅行会開催について）
- 5月26日 日本弁理士会定期総会
第2回10派幹事長会合
- 6月13日 第3回連合クラブ正副幹事長会議（議題：旅行会開催について）
- 6月17日 日本弁理士クラブ旅行会（神奈川県・鎌倉）
～18日
- 6月24日 連合旅行会下見（名古屋）
～25日
- 6月27日 連合三派幹事長会合
- 7月 8日 西日本弁理士クラブ旅行会（福岡県・福岡）
～ 9日

- 7月20日 第1回企画委員会（メール会議）（議題：旅行会について）
- 7月25日 第2回連合・日弁合同政策検討会議
- 7月31日 第2回企画委員会（オンライン）（議題：旅行会について）
- 8月23日 三派会合・日本弁理士会役員との意見交換会・懇親会
- 9月1日 第4回連合クラブ正副幹事長会議（議題：総会対応等）
- 9月5日 第2回幹事会、第2回定時総会（オンライン）
令和6年度日本弁理士会役員（副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦について承認を求める件
- 9月12日 第3回連合・日弁合同政策検討会議
- 9月13日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 9月19日 第3回企画委員会（オンライン）（議題：旅行会について）
- 9月21日 連合・西弁合同政策検討会議
- 9月23日 第4回企画委員会（旅行会現地にて最終打ち合わせ）
- 9月23日 弁理士連合クラブ旅行会（愛知県・名古屋）
～24日
- 9月25日 令和6年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月27日 令和6年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付終了
- 9月29日 令和6年度日本弁理士会役員定時選挙 当選人の決定及び公示
- 11月9日 第5回連合クラブ正副幹事長会議（議題：選挙戦・会計・選挙祝賀会）
- 11月10日 日本弁理士協同組合創立50周年記念式典（パレスホテル）
- 11月15日 弁理士会役員会との意見交換会・懇親会
- 11月20日 弁理士春秋会創立100周年記念式典（東京會館）
- 11月30日 日本弁理士クラブ主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 12月1日 連合主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 12月4日 第5回企画委員会（メール会議）（議題：機関誌「連合」発行作業）
- 12月5日 稲門弁理士クラブ100周年記念式典（リーガロイヤルホテル東京）

総務委員会

委員長 笹川 拓

1. 委員会の構成

委員長 笹川 拓 (同友)
副委員長 権正英 樹 (弁ク)
委員 小野友 彰 (同友)
担当副幹事長 高下雅 弘 (同友)

2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則改正の審議及び答申

4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会及び第1回定時総会

開催日時 令和5年2月27日 (月)
18:00~19:00

場 所 ブライトン国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和4年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件

②第2号議案

令和4年度弁理士連合クラブの会計報告について承認を求める件

③第3号議案

令和5年度弁理士連合クラブの事業計画について承認を求める件

④第4号議案

令和5年度弁理士連合クラブの会計計画について承認を求める件

- (2) 第2回幹事会及び第2回定時総会

開催日時 令和5年9月5日 (火)
18:00~19:30

場 所 ブライトン国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和6年度日本弁理士会役員 (副会長・監事・常議員) 候補予定者の推薦について承認を求める件

②第2号議案

令和6年度弁理士連合クラブ幹事長の選任について承認を求める件

以上

政 策 委 員 会

委員長 岸 本 達 人

1. 委員会の構成

委員長	岸 本 達 人 (弁ク)
副委員長	井 澤 幹 (同友)
委員	古 谷 史 旺 (同友)
	小 林 保 (同友)
	丸 山 英 一 (同友)
	山 崎 高 明 (同友)
	関 大 祐 (同友)
	中 川 裕 幸 (弁ク)
	山 川 茂 樹 (弁ク)
	山 本 晃 司 (弁ク)
	今 堀 克 彦 (弁ク)
	野 崎 俊 剛 (弁ク)
	河 部 康 弘 (弁ク)
担当副幹事長	井 上 誠 一 (弁ク)

2. 職務権限

日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 日本弁理士会の政策に関する対応
- (2) 日本弁理士会の総会、常議員会の議案等への対応
- (3) 知的財産制度及び弁理士制度に関する検討、提言

4. 活動報告

- (1) 三派と日本弁理士会会長の意見交換会における政策意見の提出
＜意見提出日＞2023年8月17日
＜背景＞意見交換会の開催に合わせて、三派に対し政策意見の提出依頼を受けた。

- (2) 2025大阪・関西万博会場における日本弁理士会のイベントについての意見提出
＜意見提出日＞2023年9月29日
＜背景＞万博会期終盤（2025年10月）の1週間、メッセ会場内にて、日本弁理士会として出展する予定である。この会場は、特許庁が確保しているもので、日本弁理士会に対して当該エリアの使用につい

て打診があった。そこで、三派に対して日本弁理士会のイベント対応について、三派に対し意見の提出依頼を受けた。

- (3) 令和6年4月以降の弁理士会事務総長の人事について

＜意見提出日＞2023年10月26日

＜背景＞前事務総長が急逝されたため、急遽、弁理士会事務局のなかから現事務総長が内部登用された。現事務総長の任期は令和6年3月末の予定であるため、次期事務総長を決める必要がある。現事務総長を決める際は、弁理士会として事務総長人事をどうすべきかについて十分な検討時間をとることができなかった。そこで、三派に対して、今後の事務総長人事をどうすべきかについて、三派に対し意見の提出依頼を受けた。

5. 所感

今期の政策委員会は、日本弁理士会（本会）からの意見募集に対し前記3つのテーマについて弁理士連合クラブの意見を取り纏め、本会に提出しました。本会から意見提出を求められるテーマは重要かつセンシティブなものが多いため、提出した意見そのものを本稿で報告することはできませんが、意見提出を求められた背景を説明しました。背景の説明を通じて、本会の動向の一部でも皆様にお伝えできたでしょうか？

今期の活動を振り返ってみると、本会からの意見募集への対応という受け身の活動しかできませんでしたが、弁理士連合クラブが本会に対し、積極的に問題を提示し意見を提出することができたなら、本会の活動にもっと貢献できたのではないかと考えています。

今後の当委員会が、本会に解決してほしい問題点を弁理士連合クラブの会員から吸い上げ、検討し、コンスタントに提言できるようになっていただけたら、素晴らしいことだと思います。

今期の活動を支えていただいた委員の皆様には、心より感謝いたします。

企画委員会

委員長 笹野 拓馬

1. 委員会の構成

委員長 笹野 拓馬 (同友)
副委員長 小田原 敬一 (弁ク)
委員 小國 泰弘 (弁ク)
櫻田 賢 (弁ク)
美川 公 司 (弁ク)
坂岡 範 穂 (同友)
坂田 樹 (同友)
担当副幹事長 笹野 拓馬 (同友)

2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関誌の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4. 活動報告

(1) 委員会の開催

1) 旅行会検討会議 (オンライン)

日時：令和5年4月29日

議題：旅行会2日目観光の訪問先である愛知工業大学「ロボット研究ミュージアム」における講演・見学内容の確認

2) 第1回企画委員会 (メール会議)

日時：令和5年7月20日

議題：旅行会の企画概要の確認

3) 第2回企画委員会 (オンライン)

日時：令和5年7月31日

議題：旅行会の企画の詳細確認・検討

4) 第3回企画委員会 (オンライン)

日時：令和5年9月19日

議題：旅行会当日の流れ・段取り・役割分担の確認

5) 第4回企画委員会 (現地にて)

日時：令和5年9月23日

議題：現地にて、旅行会の流れ・段取り・役割を最終確認

6) 第5回企画委員会 (メール会議)

日時：令和5年12月4日

議題：機関誌「連合」の段取り等の確認

(2) 弁理士連合クラブ旅行会

1) 令和5年度弁理士連合クラブ旅行会の下見

令和5年6月24日(土)～25日(日)にかけて愛知県及び名古屋市内を下見した。宿泊ホテル・宴会場・二次会場・観光候補地等を訪れ、各施設・設備、移動経路、当日の段取り等を確認した。

2) 令和5年度弁理士連合クラブ旅行会の実施

令和5年9月23日(土)～24日(日)にか

けて名古屋で開催した。懇親会は101名、二次会は91名もの先生方の参加を得て盛大に開催された。

- 3) 令和5年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会
旅行会2日目に愛知県豊田市にある「ロイヤルカントリークラブ下山コース」で開催において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会を開催。天候にも恵まれ、7組27名の参加を得た。

- 4) 令和5年度弁理士連合クラブ旅行会観光
(1日目・2日目)

今年は、例年と異なり、1日目にも観光を手配した。1日目は、浜松にて、27名の先生方が参加され、貸切バスを利用して、浜松城を見学したのち、浜名湖グルメパークで昼食、その後、航空自衛隊浜松広報館「AIR PARK」をガイド付きで見学した。2日目は、24名の先生方が参加され、1日目と同様に、貸切バスで移動し、愛知工業大学(AIT)八草キャンパスにある「ロボット研究ミュージアム」にて、西山客員講師にAITの取組についてご紹介いただくとともに、「ロボット・AIの現状と未来」について解説をいただきながら、ミュージアムを見学した後、トヨタ博物館を巡り、その後、「蓬左亭」で「ひつまぶし」を食した。

- (3) ホームページの維持、管理

弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ(幹事長挨拶、組織図、年間行事など)のアップデートを行った。

- (4) 機関誌「連合」の発行

令和6年2月末にホームページを通じて発行する予定である。

役員協議委員会

委員長 美川 公司

1. 委員会の構成

委員長 美川 公司 (弁ク)
副委員長 吉村 俊一 (同友)
委員 茜ヶ久保 公二 (同友)
荻 弥生 (同友)
濱田 百合子 (弁ク)
櫻田 賢 (弁ク)
山本 晃司 (弁ク)
担当副幹事長 高下 雅弘 (同友)

2. 職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙活動の統括を行う。

3. 活動報告

- (1) 日本弁理士会令和4年度第1回臨時総会に参加し、選挙関連規則の改正について情報収集をした。
- (2) 日本弁理士会選挙管理委員会発行の「令和6年度役員定時選挙の実施要領」を入手し、令和6年度役員選挙の日程を確認した。
- (3) 日本弁理士会選挙管理委員会の選挙説明会に役員協議委員長等が出席し、選挙管理委員会から説明を聞くとともに、ガイドラインその他の資料を入手した。
- (4) 上記(3)の選挙説明会以降、各单位会派でガイドライン等の内容の周知徹底を図った。
- (5) 単位会派の幹事長及び担当副幹事長と相談の上、当選祝賀会の進行等を検討した。
- (6) 9月25日に単位会派毎に立候補届けを日本弁理士会に提出し、選挙活動を開始した。立候補届けの提出から立候補締め切りまでは、副会長が会派外候補者の立候補により定員1名オーバー、監事は定員通り、関東地区常議員が会派外候補者の立候補により定員1名オーバーであった。
- (7) 立候補取り下げ期限である9月29日17時まで、常議員について一名の立候補の撤回が行われ、これにより、関東地区常議員については投票選挙

が回避された。

- (8) 一方、副会長候補については、立候補取り下げ期限の当日夕方ギリギリになって、会派外立候補者が自ら立候補の取り下げの процедуруをしたことにより、副会長についても投票選挙が回避された。
- (9) 弁理士連合クラブ主催の当選祝賀会は、単位会派の協力を得て準備及び当日進行が行われ、昨年度と同様のコートヤードマリオット銀座東武ホテルにて、12月1日に計画通り実行された。

4. 所感

本年度の日本弁理士会役員選挙は、立候補の段階では副会長及び関東地区常議員について、会派外候補者の立候補により、それぞれ1名の定員オーバーが発生した。また、立候補取り下げ期限の直前に会派外副会長立候補者が自ら立候補を取り下げたり、関西地区で初めての常議員投票選挙が行われたりと、例年にない事象が発生した。このように、本年度は今までなかった調整時項が短時間に集中して発生したが、連合幹事長を含む他会派幹事長間での密接な関係及び単位会派内の積極的な活動により、有意義且つ効果的な選挙活動が実行できたものと考えます。

弁理士連合クラブ推薦の当選者

副会長 今堀 克彦 (弁ク)
副会長 大橋 剛之 (同友)
監事 恩田 博宜 (同友)
常議員 (関東選挙区)
都野 真哉 (弁ク)
吉村 俊一 (同友)
古川 友美 (同友)
関 大祐 (同友)
小林 功 (弁ク)
奥村 光平 (弁ク)

以上

第31回連合旅行会・ゴルフ大会

令和5年9月23日（土）～24日（日） 愛知県名古屋市 三交イン名古屋錦 四季乃湯
愛知県豊田市 ロイヤルカントリークラブ下山コース

名古屋でBBQ！

企画委員長 笹野 拓馬



はじめに

連合旅行会は、コロナ禍の影響を受け、昨年、2年ぶりの復活となりましたが、無事に今年も、9月23日（土）～24日（日）にかけて「名古屋」で開催することができました。

本年度は、5月にコロナ感染症の位置づけが2類から5類に移行し、コロナ以前の生活が戻りつつありましたが、コロナ禍が完全に終息するような状況ではありませんでしたので、昨年と同様に、ビジネスホテルで個室を原則とし、宴会・二次会は、全てバスによる移動としました。

今年の旅行会は、若手が参加しやすい場所で、かつ、多くの先生方に集まっていただき、わいわいとおしゃべりすることができる懇親の場を提供することをテ

マに検討を重ね、開催地を「名古屋」、宴会を、恐らく、弁理士連合クラブ初と思われる「バーベキュー」とし、チャレンジ的な企画としました。

1日目観光

連合の旅行会は、研修会で幕を開けるのが恒例になっていますが、今年は、研修会に代えて、1日目から観光を日程に組み込みました。

場所は、新幹線で東京から名古屋に来る途中の「浜松」に選定し、浜松駅に集合、貸切バスで移動しながら、まず、浜松城を見学、浜名湖グルメパークで昼食（浜松餃子御膳）を取った後、航空自衛隊浜松広報館「AIR PARK」をガイド付きで見学し、15:00頃に「AIR PARK」を出発、そのまま貸切バ

スで名古屋市内の宿泊ホテルに向かうプランとしました。私は受付等の対応もあり、残念ながら参加することができませんでしたが、参加された先生方のお話を伺うと、楽しい時間を過ごしていただけたようでした。

懇親会

懇親会は、名古屋市の中心にありながら、緑に囲まれた久屋大通庭園フラリエでBBQ大会を実施しました。

懇親会の会場には、宿泊ホテルの「三交イン名古屋錦 四季乃湯」から、手配した送迎バスに乗ってお越しいただくか、直接会場に足を運んでいただき、全員集まったところで、まず、会場の広場で集合写真を撮影し、その後、BBQ会場に移動していただきました。

写真撮影後は、いよいよ宴会のスタートです。例年であれば、連合幹事長の挨拶から始まるのですが、本年度は、BBQという開放的な雰囲気もあり、まず、喉を潤していただこうと、弁理士連合クラブ相談役・吉村俊一先生の乾杯のご発声からスタート。その後、梶俊和連合幹事長に挨拶をいただき、続いて、ご来賓の日本弁理士会会長・鈴木一永先生、日本弁理士クラブ幹事長・本多敬子先生、西日本弁理士クラブ幹事長・藤田典彦先生からご挨拶を頂戴しました。



BBQは、わいわいと楽しむことができる懇親の場を提供するとのテーマに沿って、約10名ずつ、12のテーブルに分け、各テーブルに、若手、中堅、ベテランが均等に混ざるように、そして、各会派から少なくとも1名ずつ入るように、ランダムに組み合わせ、世代や会派を超えて会話を楽しんでいただけるように工夫しました。

各テーブルの様子を拝見しますと、肉を焼く係を交代しながら、料理に舌鼓を打ちつつ、わいわいとお酒と会話を楽しんでいるようでした。

そんな楽しい時間もあっという間に過ぎ、中締め
の時間となり、中締めは、弁理士連合クラブ相談役
の木下實三先生にお言葉をいただき、最後に、弁理
士連合クラブ副幹事長の高下雅弘先生の閉会の辞で、
懇親会を締め切りました。



乾杯
吉村先生



連合幹事長挨拶
梶先生



日本弁理士会会長挨拶
鈴木先生



日本弁理士クラブ幹事長挨拶
本多先生



西日本弁理士クラブ幹事長挨拶
藤田先生



中締め
木下先生



閉会の辞
高下先生



二次会

懇親会の後は、送迎バスに乗って、宿泊ホテルと懇親会会場の中間地点にある、スポーツバー「Sports Bar B2」に向かい、そこで、ダーツやビリヤード、シュミレーションゴルフ、カラオケを楽しんでいただきました。

皆様、お酒を交えながら、ダーツやカラオケなどを楽しんでいただき、大いに盛り上がりました。

二次会は22時半で終了、その後は自由行動となり、こちらでご用意した三次会に行かれる先生方、個別に三軒目に向かわれる先生方、また、翌日のゴルフに備えて早めにホテルに戻られる先生方、各々、楽しい時間を過ごしているようでした。



二日目観光

二日目は、観光組、ゴルフ組に分かれての行動となりました。

観光組は、24名の先生から申し込みがあり、貸切バスで、まず、愛知工業大学八草キャンパスにある「ロボット研究ミュージアム」を訪問し、そこで、同大学の西山客員講師から、大学の活動紹介と「ロボット・AIの現状と未来」についての解説をいただいたのち、大学での研究内容やその成果が展示されたミュージアムを見学しました。その後、世界の自動車とクルマ文化を紹介するトヨタ博物館を巡り、締め「蓬左亭」の「ひつまぶし」をご堪能いただきました。



ゴルフ組につきましては、ゴルフ幹事をお引き受

けいただきました小越先生からの「ゴルフ大会」報告を、ぜひご一読ください。

最後に

今年の旅行会は、懇親会参加者が101名、二次会参加者が91名と、これまでにないような最大規模で実施することができました。

旅行会にご参加いただきました皆様に心からお礼を申し上げます。また、皆様には、不慣れな旅行会準備と進行のため色々とお不便とお迷惑をお掛けしたと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。旅行会の準備・運営にご尽力いただきました企画委員会の先生方、当日の運営にご協力いただきました先生方には深く感謝いたします。

この旅行会が記憶に残る楽しい時間だったなと感じていただける先生方が少しでも多くいらっしゃれば幸いです。

ありがとうございました。

愛知工業大学



トヨタ博物館



9月24日<ゴルフ大会の部>

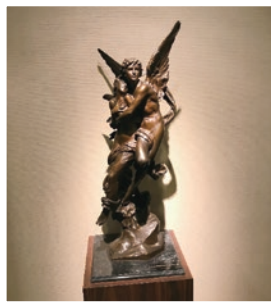


今年の弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、愛知県豊田市にある「ロイヤルカントリークラブ下山コース」で開催しました。今回は、27名と非常に多くの方にご参加いただきました。

当日の朝はホテルをチェックアウトした後、貸切バスにご乗車いただき、コメダ珈琲で用意した朝食をバスの中で召し上がっていただきました。行きの道は混雑することなく、スムーズに移動することができました。ゴルフ場近くの山道が狭くて、バスが通れるのか心配になりましたが、なんとか無事に通り抜けることができました。

本ゴルフコースでは、夏場はスループレーということで、ハーフラウンド終了後に休憩がなく、夏の暑い時期、なかなかハードなラウンドとなりましたが、全員が無事にホールアウトすることができました。前半は、クイーンコース（南）、後半は、クラウンコース（東）を、全7組が順次スタートして、新ペリア方式で順位を争いました。

コースとは言いますと、なだらかな平原が広がる適度にアップダウンのあるコースで、フェアウェイの左右には所々大木が迫り出して、心理的なプレッシャーを与えてきます。また、ホールとホールの間やクラブハウス内には、なぜか裸婦像が設置されており、聞くところによると、ゴルフクラブのオーナーの趣味によるもので、美大生に制作を依頼しているとのことでした。



ゴルフ大会幹事 小越 一輝

結果の方ですが、成績表をご覧ください。隠しホールがうまく嵌った荻弥生先生が優勝しました。1組目と最終組とで45分ほど間があいてしまったため、ランチを兼ねたパーティーでは、早くスタートされた組の方にはお待たせしていまい、遅くスタートされた組の方には、ゆっくりと食事を楽しんでいただくことができず、申し訳ありませんでした。

終了後は、皆様無事に帰路につくことができまして、なんとか幹事の役目を果たすことができました。参加された先生方には、ご不便をおかけした点が多々ありましたが、ご理解とご協力をいただき、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

第31回連合旅行会・ゴルフ大会成績

令和5年9月24日(日)

於:ロイヤルカントリークラブ下山コース

順位	氏名(敬称略)	クラウン	クイーン	GROSS	HDCP	NET	GROSS 順位
優勝	荻 弥生	50	53	103	30.0	73.0	20
準優勝	吉井 雅栄	46	44	90	15.6	74.4	6
3位	川久保新一	45	48	93	18.0	75.0	9
4位	田中 達也	48	38	86	10.8	75.2	1
5位	米山 尚志	43	45	88	12.0	76.0	4
6位	井上 一	47	52	99	22.8	76.2	16
7位	小澤 壮夫	44	42	86	9.6	76.4	1
8位	稗苗 秀三	45	43	88	10.8	77.2	4
9位	長濱 範明	49	44	93	15.6	77.4	9
10位	小越 一輝	51	47	98	20.4	77.6	15
11位	堀籠 佳典	52	51	103	25.2	77.8	20
12位	吉村 俊一	50	51	101	22.8	78.2	18
13位	坂本 智弘	48	46	94	15.6	78.4	12
14位	大西 正悟	41	46	87	8.4	78.6	3
15位	岩倉 民芳	48	49	97	18.0	79.0	13
16位	久松 洋輔	52	61	113	33.6	79.4	27
17位	石川 憲	43	49	92	12.0	80.0	7
18位	本間 博行	44	48	92	12.0	80.0	7
19位	永井 義久	54	50	104	24.0	80.0	23
20位	北村修一郎	56	54	110	30.0	80.0	26
21位	木下 實三	53	50	103	22.8	80.2	20
22位	宗像 孝志	50	56	106	24.0	82.0	25
23位	香坂 薫	43	50	93	10.8	82.2	9
24位	木戸 良彦	52	52	104	21.6	82.4	23
25位	鈴木 一晃	45	52	97	14.4	82.6	13
26位	藤田 典彦	50	51	101	18.0	83.0	18
27位	北原 宏修	55	45	100	16.8	83.2	17

令和5年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長 梶 俊和（弁ク）

副幹事長 笹野 拓馬（企画、研修）（同友）

井上 誠一（政策、調整）（弁ク）

高下 雅弘（総務、役協）（同友）

幹事 茜ヶ久保公二（同友） 大橋 剛之（同友） 河合 利恵（同友） 関 大祐（同友）

吉田倫太郎（同友） 濱田百合子（弁ク） 櫻田 賢（弁ク） 權正 英樹（弁ク）

岸本 達人（弁ク） 小田原敬一（弁ク） 美川 公司（弁ク） 中川 裕幸（弁ク）

河部 康弘（弁ク）

監事 小川 眞一（同友） 真田 修治（弁ク）

相談役 原田 信市（同友） 吉田 芳春（同友） 菊池 新一（同友） 小川 眞一（同友）

小池 晃（同友） 田辺 敏郎（同友） 古谷 史旺（同友） 丸山 英一（同友）

石川 憲（同友） 小林 正治（同友） 粕川 敏夫（同友） 吉村 俊一（同友）

井澤 幹（同友） 木下 實三（弁ク） 永井 義久（弁ク） 川久保新一（弁ク）

渡邊 一平（弁ク） 山川 政樹（弁ク） 絹谷 信雄（弁ク） 伊藤 進（弁ク）

須山 佐一（弁ク） 鈴木 知（弁ク） 山川 茂樹（弁ク） 山本 晃司（弁ク）

塩野谷英城（弁ク） 中川 裕幸（弁ク）

【総務委員会】

委員長 笹川 拓（同友）

副委員長 權正 英樹（弁ク）

委員 小野 友彰（同友）

【政策委員会】

委員長 岸本 達人（弁ク）

副委員長 井澤 幹（同友）

委員 古谷 史旺（同友） 小林 保（同友） 丸山 英一（同友） 山崎 高明（同友）

関 大祐（同友） 中川 裕幸（弁ク） 山川 茂樹（弁ク） 山本 晃司（弁ク）

今堀 克彦（弁ク） 野崎 俊剛（弁ク） 河部 康弘（弁ク）

【企画委員会】

委員長 笹野 拓馬（同友）
副委員長 小田原敬一（弁ク）
委員 坂岡 範穂（同友） 坂田 樹（同友） 小國 泰弘（弁ク） 櫻田 賢（弁ク）
美川 公司（弁ク）

【役員協議委員会】

委員長 美川 公司（弁ク）
副委員長 吉村 俊一（同友）
委員 茜ヶ久保公二（同友） 大橋 剛之（同友） 河合 利恵（同友） 濱田百合子（弁ク）
山本 晃司（弁ク） 櫻田 賢（弁ク）

【調整委員会】

委員長 長内 行雄（同友）
副委員長 中川 裕幸（弁ク）
委員 小林 保（同友） 丸山 英一（同友） 粕川 敏夫（同友） 井上 一（弁ク）
船津 暢宏（弁ク）

【研修委員会】

委員長 谷口 登（同友）
副委員長 河部 康弘（弁ク）
委員 萩 弥生（同友） 權正 英樹（弁ク） 内野 則彰（弁ク）

弁理士連合クラブ歴代役員

【昭和62年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない

【昭和63年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない
総務委員会
委員長 山元俊仁
政策委員会
委員長 磯野道造
副委員長 小田治親
委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修
守谷一雄 須山佐一 木下實三
三澤正義 羽村行弘
企画委員会
委員長 紺野正幸
副委員長 森 哲也
委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎
辻 実 中山伸治 松田雅章
村田幹雄 渡邊喜平

選挙対策委員会

委員長 佐々木功

【平成元年度】

幹事長 古谷 馨
副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市
幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄
志賀正武 下田容一郎 武田賢市
土橋 皓 中山 清 丹波宏之
古谷史旺 山川政樹 米屋武志
監事 安達房次郎 須田孝一郎

総務委員会

委員長 須山佐一
副委員長 吉田精孝
委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保
小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎
仁平 孝 渡邊喜平

政策委員会

委員長 原田信市
副委員長 守谷一雄
委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸
竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆
松田雅章 真田修治

企画委員会

委員長 唐木浄治
副委員長 木村高久
委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男
渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫
小林正治 今野耕哉

選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

【平成 2 年度】

幹事長 佐々木功
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄
木下實三 紺野正幸 志賀正武
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 山川政樹 米屋武志
監事 秋本正實 武田賢市

総務委員会

委員長 小林正治
副委員長 山崎輝緒
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇
仁平 孝 羽村行弘

政策委員会

委員長 下田容一郎
副委員長 坂口信昭
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正
中島 淳 原田信市 三澤正義
守谷一雄 山元俊仁

企画委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 渡部敏彦
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔
永井義久 仁科勝史 松田雅章
本宮照久 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

【平成 3 年度】

幹事長 菊池新一
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄
幹事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄
志賀正武 武田賢市 土橋 皓
中島 淳 中山 清 原田信市
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁
監事 小田治親 佐々木功

総務委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 木村高久

委員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄
富田和子 羽村行弘 森正 澄
八鍬 昇 渡部敏彦

政策委員会

委員長 中島 淳
副委員長 坂口信昭
委員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕
三澤正義 紺野正幸

企画委員会

委員長 黒川弘朗
副委員長 齋藤美晴
委員 秋山 修 北村 仁 小林正治
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫
吉田芳春 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄
副委員長 天野 泉
委員 大塚明博 木下實三 下田容一郎
須山佐一 永井義久 中澤健二
中畑 孝 中山伸治

【平成 4 年度】

幹事長 原田信市
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳
幹事 伊藤 進 菊池新一 木下實三
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志
監事 磯野道造 紺野正幸

総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗
副委員長 永井義久
委員 大島陽一 小川利春 高橋康夫
平山一幸 小倉正明 坂本光雄
竹山宏明 山本義明

政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄
副委員長 戸村 隆
委員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春

副委員長 関口俊三

委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳

副委員長 竹内 裕

委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎
古谷史旺 米屋武志

【平成 5 年度】

幹事長 絹谷信雄

副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳

幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎
森哲也 大橋 弘
山本彰司 小池 晃
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
木村高久 佐藤孝雄
仁平 孝 山崎輝緒

監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝

副委員長 今野耕哉

委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博
土川 晃 坂本光雄
(弁ク) 川久保新一 富田和子
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉

副委員長 渡邊喜平

委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭
黒川弘朗 川村恭子
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久

副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫
仁科勝史 吉田芳春
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治

副委員長 守谷一雄

委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇
古谷史旺 森哲也
(弁ク) 三澤正義 内田和男
山田明信 石川泰男

【平成 6 年度】

幹事長 米屋武志

副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三

幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
三澤正義 永井義久
(同友) 森 哲也 大橋 弘
黒川弘朗 小池 晃
吉田精孝 小林正治

監事 (弁ク) 小田治親
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)

副委員長 黒田博道(弁ク)

委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁
渡邊一平 井上 一
(同友) 今野耕哉 小倉正明
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)

副委員長 古谷史旺(同友)

委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸
真田修治 齋藤美晴
(同友) 天野 泉 坂口信昭
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)

副委員長 永井義久(弁ク)

委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 中澤健二(同友)
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護
石川泰男 半田昌男
(同友) 積田輝正 中山伸治
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)
副委員長 井澤 洵(同友)
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成 7 年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)
副幹事長 小池 晃(同友)
古谷史旺(同友)
伊藤 進(弁ク)
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄
田辺敏郎 中山伸治
羽村行弘 吉田精孝
(弁ク) 須山佐一 中島 淳
永井義久 仁平 孝
三澤正義 守谷一雄
監事 (同友) 積田輝正
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 小林 保(同友)
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄
花村 太 山本義明
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク)
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史
本田 崇 森 哲也
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔
中村盛夫 米山淑幸
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク)
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉
大塚明博 山田智重
(弁ク) 遠山 勉 木下實三
渡邊一平 渡邊喜平

【平成 8 年度】

幹事長 小池 晃(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久
伊藤 進 紺野正幸
木下實三 黒田博道
(同友) 恩田博宣 古谷史旺
坂口信昭 本田 崇
小林正治 田中雅雄
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 真田修治(弁ク)
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一
井上 一 保立浩一
(同友) 中里浩一 桑原 稔
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友)
委 員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁
青木輝男 遠山 勉
(同友) 森哲 也 小林 保
五十嵐和壽 羽村行弘

企画委員会(担当 大橋 弘)
委 員 長 坂本光雄(同友)
副委員長 井上誠一(弁ク)
委 員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三
開口宗昭 黒田 壽
(同友) 大貫和保 中村盛夫
中村和年 旦 武尚

研修委員会(担当 大橋 弘)
委 員 長 高月 猛(同友)
副委員長 井上 一(弁ク)
委 員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭
(同友) 本田 崇 山田智重

選挙対策委員会(担当 小池 晃)
委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 中山伸治(同友)
委 員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平
黒田博道 山口邦夫
(同友) 黒川弘朗 八鍬 昇
小倉正明 伊賀誠司

【平成9年度】

幹 事 長 木下實三(弁ク)
副幹事長 竹内 裕(同友)
(総務・10周年(主)担当)
田辺敏郎(同友)

(企画・研修・10周年担当)
永井義久(弁ク)
(政策・選対・10周年担当)

幹 事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道
紺野正幸 須山佐一
中島 淳 三澤正義
(同友) 秋山 修 大塚明博
大貫和保 小倉正明
坂本光雄 中澤健二

監 事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)
相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市

佐々木功 菊池新一
米屋武志 小池 晃

総務委員会(担当 竹内 裕)
委 員 長 川久保新一(弁ク)
副委員長 米山淑幸(同友)
委 員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳
黒田 壽 笹井浩毅
(同友) 秋山 修 桑原 稔
菊池 徹 中村信彦

政策委員会(担当 永井義久)
委 員 長 吉田精孝(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
委 員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫
保立浩一 三品岩男
(同友) 大塚明博 仁科勝史
小倉正明 飯田昭夫

企画委員会(担当 田辺敏郎)
委 員 長 西森浩司(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委 員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫
世良和信 山口邦夫
(同友) 坂本光雄 旦 武尚
小川眞一 松下 満

選挙対策委員会(担当 永井義久)
委 員 長 中山伸治(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委 員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴
須山佐一 渡邊喜平
(同友) 吉田芳春 黒川弘朗
神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)
委 員 長 石川泰男(弁ク)
副委員長 中里浩一(同友)
委 員 (弁ク) 井上 一 木村高明
塩田辰也 遠山 勉
(同友) 大塚明博 小林 保
西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
(担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)
委 員 長 天野 泉(同友)
副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

委員 (同友) 須山佐一 遠山 勉
油井 透
(同友) 唐木浄治 積田輝正
羽村行弘 吉田芳春
(同友) 青木輝男 伊藤 進
大島陽一 木村高久
黒田博道 黒田 壽
齋藤美晴 笹井浩毅
下田容一郎 中島 淳
中山 清 服部雅紀
布施行夫 三澤正義
山口邦夫
(同友) 井澤 洵 大橋 弘
大塚明博 菊池 徹
坂本光雄 坂口信昭
丸山英一 田中雅雄
旦武 尚 中澤健二
古谷史旺 山本彰司
山田智重 吉田精孝
米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)
委員長 小倉正明(同友)
副委員長 渡邊一平(同友)
委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫
旦 武尚 伊賀誠司
(同友) 山口邦夫 井上誠一
下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)
委員長 中島 淳(同友)
副委員長 小林正治(同友) 笹井浩毅(同友)
委員 (同友) 青木輝夫 山口邦夫
黒田 壽 大橋邦彦
布施行夫 保立浩一
半田昌男 阪本清孝
藤野清規 原田 寛
(同友) 伊賀誠司 小倉正明
恩田博宣 唐木浄治
小池 晃 清水敬一
旦 武尚 原田信市
古谷史旺 米山淑幸
(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二
本田 崇 小川眞一
五十嵐和壽
(同友) 小田治親 伊藤 進
仁平 孝 真田修治
渡邊喜平 井上 一

【平成10年度】

幹事長 田辺敏郎(同友)
副幹事長 吉田精孝(同友)
(政策、役員協議担当)
木村高久(同友)
(企画、研修担当)
須山佐一(同友)
(総務、渉外関係担当)

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵
中澤健二 本田 崇
小川眞一 五十嵐和壽
(同友) 小田治親 伊藤 進
仁平 孝 真田修治
渡邊喜平 井上 一

監事 土橋 皓(同友) 大橋 弘(同友)

相談役 (同友) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
木下實三
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当：木村高久)
委員長 大塚明博(同友)
副委員長 小川利春(同友)
委員 (同友) 長内行雄 小林 保
坂本光雄 羽村行弘
(同友) 石橋佳之夫 牧 哲郎
渡部敏彦 西森浩司

役員協議委員会(担当：吉田精孝)
委員長 守谷一雄(同友)
副委員長 羽村行弘(同友)
委員 (同友) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
木下實三 真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

研修委員会(担当：木村高久)
委員長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)
委 員 (同友) 小川眞一 鈴木利明
丸山英一 中村信彦
(弁ク) 石川泰男 島田康男
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)
委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

【平成11年度】

[幹事会]

幹 事 長 須山佐一(弁ク)
副幹事長 井澤 洵(同友)
(企画、研修担当)
小林正治(同友)
(政策、役員協議担当)
永井義久(弁ク)
(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗
坂口信昭 森 哲也
羽村行弘 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 小田治親
仁平 孝 渡邊喜平
川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)
(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
(弁理士会常議員会議長経験者)
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委 員 長 井上 一(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一
尾関伸介 笹井浩毅
(同友) 羽切正治 中村信彦
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委 員 長 小池 晃(同友)
{9月以降：古谷 史旺(同友)}
副委員長 大橋邦彦(弁ク)
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫
伊賀誠司 竹内 裕
松下 満 吉田精孝
(弁ク) 井上誠一 北村 仁
黒田 壽 三澤正義
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委 員 長 山口邦夫(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
委 員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明
布施行夫 渡部敏彦
(同友) 本宮照久 神崎正浩
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委 員 長 原田信市(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
天野 泉(同友)
委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一
竹内 裕 中山伸治
(弁ク) 川久保新一 木村高久
紺野正幸 仁平 孝
原田 寛 守谷一雄
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委 員 長 古谷史旺(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市
森 哲也 山本彰司
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 五十嵐和壽(同友)
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸
廣田浩一 油井 透
(同友) 山田智重 中里浩一
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)
副幹事長 仁平 孝(弁ク)
(政策、役員協議担当)
真田修治(弁ク)
(企画、研修担当)
坂口信昭(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一
中島 淳 渡邊一平
土橋 皓 永井義久
(同友) 大貫和保 大塚明博
本田 崇 小倉正明
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 黒田 壽(弁ク)
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭
尾川秀昭 石崎 剛
(同友) 大塚明博 山本義明
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
世良和信(弁ク)

委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二
秋山 修 小林正治
吉田芳春 小倉正明
松下 満 崔 秀喆
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴
亀谷美明 川久保新一
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)
副委員長 小林正治(同友)
井上 一(弁ク)
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗
高野昌俊 西野茂美
本宮照久
(弁ク) 永井義久 紺野正幸
小田治親 青木輝夫
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久
守谷一雄 須山佐一
(同友) 中山伸治 菊池新一
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎
友野英三 坂本清孝
(同友) 中村信彦 青山 仁
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 柿本恭成(弁ク)
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉
富澤 孝 金坂憲幸

【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)
副幹事長 本田 崇(同友)
(政策、研修担当)
山本彰司(同友)
(企画、役員協議担当)
伊藤 進(弁ク)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝
笹井浩毅 内田和男
大橋邦彦 布施行夫
(同友) 唐木浄治 丸山英一
山崎高明 五十嵐和壽
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

総務委員会
委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝
廣田浩一 山本晃司
(同友) 中里浩一 松下 満
藤井稔也 山木義明

政策委員会
委員長 磯野道造(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治
仁平 孝 平山一幸
三谷 恵 三澤正義
山川茂樹
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭
竹内 裕 田辺敏郎
中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成
北村 仁 木下實三
紺野正幸
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功
古谷史旺 仁科勝史
長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治
永井義久 渡邊一平
(同友) 天野 泉 小林正治
中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之
富澤 孝 木村高明
(同友) 山田智重 杉本良夫
旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)
副委員長 川俣静子(同友)
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉
友野英三 岡本啓三
(同友) 高野昌俊 竹山宏明
崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)
副幹事長 森 哲也(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)
内田和男(弁ク)
(企画、研修担当)
川久保新一(弁ク)
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一
(同友) 中山伸治 唐木浄治
清水敬一 山本義明
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成
黒田 壽
(同友) 原田信市 黒川弘朗
山本彰司 古谷史旺
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)
中島 淳(弁ク)

総務委員会
委 員 長 五十嵐和壽(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司
廣田浩一 佐原雅史
(同友) 中村盛夫 松田克治
秋元芳雄 長内行雄

企画委員会
委 員 長 川俣静子(同友)
副委員長 山口義雄(弁ク)
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝
金坂憲幸 金井英幸
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆
広瀬 一 谷口 登

政策委員会
委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 坂口信昭(同友)
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三
齋藤美晴 井上 一
山川茂樹 友野英三
(同友) 田辺敏郎 中澤健二
本田 崇 大塚明博
高野昌俊 小倉正明

役員協議委員会
委 員 長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

研修委員会

委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 世良和信(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚
美濃好美 塩野谷英城
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司
丸山英一 杉本良夫

調整委員会

委 員 長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄
木村高久 中島 淳
(同友) 佐々木功 中村政美
積田輝正 大貫和保

【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)
副幹事長 中澤健二(同友)
(政策、調整担当)
飯田昭夫(同友)
(企画、研修担当)
渡邊一平(弁ク)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博
中村盛夫 伊賀誠司
旦 武尚 高尾裕之
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒
真田修治 北村 仁
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)

総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)
副委員長 松下 満(同友)
委員 (同友) 神崎正浩 花村 太
粕川敏夫 井澤 幹
(弁ク) 鈴木 知 中川裕幸
柿本邦夫 石崎 剛

企画委員会

委員長 本宮照久(同友)
副委員長 水野 清(弁ク)
委員 (同友) 長内行雄 新井 全
小島 猛 西 和哉
(弁ク) 内田和男 小川利春
金坂憲幸 美濃好美

政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 磯野道造 小池 晃
坂口信昭 原田信市
竹内 裕 本田 崇
旦 武尚 青山 仁
(弁ク) 大橋邦彦 中島 淳
三澤正義 井上 一
保立浩一 服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
黒田 壽(弁ク)
委員 (同友) 天野 泉 大塚明博
中村盛夫 松原 等
(弁ク) 仁平 孝 川久保新一
布施行夫 山川茂樹
山本晃司

研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 大賀眞司(同友)
委員 (同友) 林 信之 高野昌俊
石川 憲 中原文彦

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史
西康二郎 田中ひろみ

調整委員会

委員長 天野 泉(同友)
副委員長 中山 清(弁ク)
委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇
山本彰司 磯野道造
(弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓
紺野正幸 小田治親

【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク)
(研修、企画担当)
永井義久(弁ク)
(政策、調整担当)
五十嵐和壽(同友)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹
内田和男 中川裕幸
小川利春 笹井浩毅
(同友) 竹内 裕 清水 修
大貫和保 神崎正浩
伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美
茅野直勝 三谷 恵
(同友) 花村 太 粕川敏夫
神崎正浩 小島 猛

企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
副委員長 新井 全(同友)
委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁
阿仁屋節雄 柿本邦夫
(同友) 松下 満 西 和哉
旦 武尚 佐藤 陽

政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 飯田昭夫(同友)
委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫
保立浩一 山川茂樹
伊藤 進 渡邊一平
(同友) 長内行雄 坂口信昭
中澤健二 坂本光雄
中村盛夫 成瀬重雄

役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)
副委員長 土橋 皓(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男
平山一幸 笹井浩毅
渡邊一平
(同友) 中里浩一 仁科勝史
杉本良夫 宮坂 徹

研修委員会

委員長 林 信之(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸
鈴木 敦 岡田希子
(同友) 中村信彦 山田智重
大賀真司 井澤 幹

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清
絹谷信雄 山川政樹
(同友) 小池 晃 吉田精孝
中山伸治 大橋 弘

【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)
副幹事長 吉田芳春(同友)
(研修、政策、
役員協議(後期)担当)
小川真一(同友)
(企画、
役員協議(前期)担当)
笹井浩毅(弁ク)
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司
長内行雄 坂口信昭
坂本光雄 中村盛夫
(弁ク) 鈴木 知 堤 卓
中川裕幸 中山 清
布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
副委員長 山崎高明(同友)
委員 (同友) 松下 満 杉本良夫
宮坂 徹 山田武史
安彦 元 関 昌充
(弁ク) 井上誠一 柿本邦夫
廣田浩一 三谷 恵

企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)
副委員長 山口義男(弁ク)
委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一
(同友) 新井 全 杉本良夫
吉村俊一

政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 坂本光雄(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫
成瀬重雄
(弁ク) 木下實三 中島 淳
井上 一 黒田 壽
山川茂樹 田中ひろみ

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 紺野正幸(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀
山川茂樹 山本晃司
(同友) 中澤健二 仁科勝史
伊賀誠司 崔 秀喆
小島 猛

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)
副委員長 林 信之(同友)
委員 (同友) 青山 仁
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸
鈴木 敦

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽
本宮照久 中村信彦
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭
服部雅紀 河部秀男
赤羽良之

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)
副委員長 渡邊一平(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹事長 吉田芳春(同友)
副幹事長 三澤正義(弁ク)
(役員協議、政策担当)
長内行雄(同友)
(総務、調整担当)
井上誠一(弁ク)

(研修、企画担当)

幹事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸
川久保新一 小川利春
永岡重幸 美濃好美
(同友) 磯野道造 坂口信昭
小林正治 五十嵐和壽
小林 保 杉本良夫

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)
永井義久(弁ク)

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 美濃好美(弁ク)
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫
(同友) 山田武史 宮坂 徹
松下 満 杉本良夫
安彦 元 関 昌充

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友) 紺野正幸(弁ク)
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹
小島 猛 藤浪一郎
堂本 環 古川友美
丸山英一
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸
塩野谷英城 布施行夫
山口義雄 山本晃司

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)
副委員長 布施行夫(弁ク)
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖
三谷 恵
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 粕川敏夫(同友)
(同友) 松下 満 花村 太
中原文彦
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄
山口義雄

政策委員会
委員長 崔 秀喆(同友)
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅
鈴木喜三郎 田中ひろみ
井上 一 今井孝弘
岡田希子 奥田 誠
金坂憲幸 上條由紀子
茅野直勝 川久保新一
木下實三 小林 浩
佐成重範 永井義久
永岡重幸 服部雅紀
美濃好美 山本晃司
中島 淳 山川茂樹
(同友) 丸山英一 小林 保
小林正治 坂本光雄
本宮照久 菊池 徹
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

【平成19年度】

幹事長 川久保新一(弁ク)
副幹事長 天野 泉(同友)
(20周年記念事業担当)
井上 一(弁ク)
(総務、政策、調整担当)
丸山英一(同友)
(企画、役員協議、
研修担当)

幹事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽
坂本光雄 伊賀誠司
杉本良夫 中原文彦
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 永岡重幸
服部雅紀 三澤正義

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 小林正治
磯野道造 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
絹谷信雄 須山佐一
永井義久 中島 淳
古谷 馨 山川政樹

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太
小島 猛
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会
委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 本宮照久(同友)
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄
崔 秀喆 山田武史
石川 憲
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行
奥 和幸 住吉勝彦
田中ひろみ

役員協議委員会
委員長 小川眞一(同友)
副委員長 亀谷美明(弁ク)
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫
柿本邦夫
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫
高尾裕之

調整委員会
委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫
松下 満 山木義明

研修委員会
委 員 長 米山淑幸(同友)
副委員長 今井孝弘(弁ク)
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明
長谷川靖
(同友) 中村信彦 三島広規
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一
木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹
(同友) 磯野道造 菊池新一
小池 晃 小林正治
佐々木功 田中武文
田辺敏郎 原田信市
吉田芳春 米屋武志

企画委員会
委 員 長 菊池 徹(同友)
副委員長 山本寿武(弁ク)
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠
鈴木喜三郎 山口義雄
(同友) 青山 仁 高尾裕之
本宮照久

総務委員会
委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 住吉勝彦(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫
小國泰弘
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹
山田武史

20周年記念事業実行委員会
委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 伊賀誠司(同友)
部 会 長 〈式 典〉黒田 壽(弁ク)
部 会 長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全
中村盛夫 崔 秀喆
粉川敏夫 杉本良夫
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛
山口邦夫 中川裕幸
伊藤信和 柿本邦夫
鈴木 知

政策委員会
委 員 長 住吉勝彦(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉
竹内 裕 小池 晃
古谷史旺 吉田芳春
丸山英一 山田武史
長内行雄 笹川 拓
関 昌充 笹野拓馬
(弁ク) 世良和信 川久保新一
井上 一 金坂憲幸
山本寿武 奥田 誠
伊藤信和 今井孝弘
上條由紀子 奥 和幸
恒川圭志 及川 周
國井久美子 森岡嗣象
高橋史保

【平成20年度】

幹 事 長 小川眞一(同友)
副幹事長 亀谷美明(弁ク)
(政策、役員協議担当)
中川裕幸(弁ク)
(研修、企画担当)
伊賀誠司(同友)
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城
鈴木 知 永井義久
永岡重幸 三澤正義
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会
委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史
井澤 幹

研修委員会
委員長 奥 和幸(弁ク)
副委員長 大塚明博(同友)
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之
石戸孝則

調整委員会
委員長 山本彰司(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進
(同友) 古谷史旺 丸山英一

役員協議委員会
委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 吉田芳春(同友)

【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)
副幹事長 本宮照久(同友)
(企画、研修担当)
山崎高明(同友)
(政策、役員協議担当)
黒田 壽(弁ク)
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄
松下 満 山木義明
菊池 徹 大塚明博
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 今井孝弘
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 古谷史旺
小林正治 磯野道造
吉田芳春 小川眞一
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹

総務委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓
関 昌充
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫
奥 和幸

政策委員会
委員長 森 哲也(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一
及川 周 奥 和幸
川久保新一 川守田光紀
國井久美子 住吉勝彦
世良和信 永井義久
永岡重幸 山川茂樹
梶 俊和
(同友) 天野 泉 小川眞一
小池 晃 笹川 拓
笹野拓馬 関 昌充
竹内 裕 恒川圭志
古谷史旺 本田 淳
丸山英一 山崎高明
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会
委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 保立浩一(弁ク)

調整委員会
委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

研修委員会
委員長 中原文彦(同友)
副委員長 鈴木 敦(弁ク)
委員 (弁ク) 住吉勝彦
(同友) 山田武史

企画委員会
委員長 梶 俊和(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳
(弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男
永井義久 川久保新一
井上誠一 永岡重幸
奥 和幸 住吉勝彦
梶 俊和

【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)
副幹事長 田中雅雄(同友)
山川茂樹(弁ク)
吉村俊一(同友)

幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄
山木義明 松下 満
新井 全 菊池 徹
(弁ク) 小川利春 岡本啓三
井上誠一 山本晃司
永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

総務委員会
委員長 住吉勝彦(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 松本一騎(弁ク)
長野みか(弁ク)

政策委員会
委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 藤井稔也(同友)
(同友) 天野 泉 竹内 裕
小池 晃 古谷史旺
吉田芳春 丸山英一
山田武史 本田 淳

役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)
副委員長 鈴木 知(弁ク)
委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久
潮 太郎
(同友) 中村盛夫 坂本光雄
藤井稔也 林 信之
笹川 拓 本田 淳

調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委員 山本彰司(同友)

研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)
委員 中原文彦(同友)

企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)
副委員長 伊藤信和(弁ク)
委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸
(同友) 菊池 徹 古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)
副幹事長 中川裕幸(弁ク)
山川茂樹(弁ク)
小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城
絹谷晴久 木戸基文
(同友) 大塚明博 坂本光雄
山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)
副幹事長 中川裕幸(弁ク)
山本晃司(弁ク)
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一
岸本達人 永岡重幸
滝澤匡則 野崎俊剛
(同友) 田中雅雄 山崎高明
山田武史 中原文彦
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委 員 長 安彦 元(同友)
副委員長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委 員 長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委 員 長 井澤 幹(同友)
副委員長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委 員 長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)

企画委員会

委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)

【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)
副幹事長 青山 仁(同友)
(企画委員会、研修委員会)
井澤 幹(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)
鈴木 知(弁ク)
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明
笹川 拓 茜ヶ久保公二
岩田克子 本田 淳
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

総務委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 笹野拓馬 石井理太
(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久
渡邊一平 岸本達人
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
内野則彰 岩田耕一
富澤 正 野崎俊剛
(同友) 竹内 裕 仁科勝史
吉田芳春 長内行雄
伊賀誠司 丸山英一
山田武史 笹川 拓
恒川圭志 石川 憲
井澤 幹 笹野拓馬
茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会

委員長 小田原敬一(弁ク)
副委員長 岩田克子(同友)
委員 (同友) 仲村圭代 駒場大視
(弁ク) 奥川勝利 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 茜ヶ久保公二(同友)
委員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎
徳増あゆみ 飯野智史

須田守一
(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘
美川公司 梶 俊和

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司
(同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 三輪浩誉(弁ク)
委員 (弁ク) 松本一騎
(同友) 山田武史

【平成 27 年度】

幹事長 山本晃司(弁ク)
副幹事長 永岡重幸(弁ク)
(企画委員会、研修委員会)
森 俊秀(同友)
(総務委員会、政策委員会)
石川 憲(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)

幹事 (同友) 小川眞一 山田武史
吉村俊一 安彦 元
本田 淳 大橋剛之
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

委員会

総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫
中村盛夫 伊賀誠司
関 昌充 井澤 幹
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子
松本一騎 熊井 寛
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)
副委員長 奥 和幸(弁ク)
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)
副委員長 梶 俊和(弁ク)
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 小川眞一(同友)
委員 (同友) 田辺敏郎
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)
委員 (同友) 笹川 拓
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)
(役員協議、調整)
梶 俊和(弁ク)
(政策、企画、研修)
笹野拓馬(同友)
(総務、30 周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄
小川眞一 山田武史
本田 淳 徳増あゆみ
(弁ク) 永井義久 中川裕幸
山本晃司 岸本達人
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 笹川 拓(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)
副委員長 小田原敬一(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充
井澤 幹 田辺 恵
高下雅弘

(弁ク) 伊藤 進 山本晃司
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
岩田耕一 富澤 正

企画委員会

委員長 須山英明(弁ク)
副委員長 吉田倫太郎(同友)
委員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 井澤 幹(同友)
委員 (同友) 安彦 元 山下幸彦
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

調整委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 山川茂樹(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一 吉村俊一
(弁ク) 岸本達人 瀧澤匡則

研修委員会

委員長 山田武史(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会

委員長 粕川敏夫(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺
(弁ク) 永岡重幸

【平成 29 年度】

幹事長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)
(政策、役員協議、調整)
絹谷晴久(弁ク)
(企画、研修)
笹川 拓(同友)
(総務、30周年記念事業)

幹事 (同友) 小林 保 小川眞一
丸山英一 吉村俊一
石川 憲 松本直子
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
中川裕幸 岸本達人
瀧澤匡則 熊井 寛

監事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 小野友彰(同友)
副委員長 今堀克彦(弁ク)
委員 (同友) 笹野拓馬
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 船津暢宏(弁ク)
副委員長 古谷史旺(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司
関 昌充 田辺 恵
茂木康彦 松本直子
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳
永井義久 山本晃司
永岡重幸 今堀克彦
三輪浩誉 須山英明
奥川勝利 小田原敬一
富澤 正

企画委員会

委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 熊井 寛(弁ク)
委員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり
(弁ク) 権正英樹 瀧澤匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 丸山英一(同友)
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 徳増あゆみ
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30 周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
式典部会長 吉村俊一(同友)
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)
記念誌部会長 松本直子(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰
田辺 恵 岩田克子
笹野拓馬 徳増あゆみ
坂口吉之助 保屋野光繁
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦
三苦貴織 新井 宏
橘 祐史 美川公司
夏目洋子 尾崎祐朗
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
笹野拓馬 松本直子
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司
伊藤信和 今堀克彦
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)
副委員長 松本直子(同友)
委員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)
副委員長 橘 和之(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 小川眞一
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
山川茂樹 岸本達人
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)
(調整、研修)

関 昌充(同友)
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹
関 大祐 高下雅弘
吉田倫太郎
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

委員会

総務委員会
委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 三苫貴織(弁ク)
委員 (同友) 山下幸彦 関 大祐
(弁ク) 村野直仁 武田侑希

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)
副委員長 伊藤信和(弁ク)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二
(弁ク) 權正英樹 河部康弘

政策委員会

委員長 潮 太郎(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 丸山英一
山崎高明 横田香澄
(弁ク) 濱田百合子 中川裕幸
今堀克彦 奥川勝利
高橋 堅 加藤和孝

【令和元年度】

幹事長 塩野谷英城(弁ク)

副幹事長 伊賀誠司(同友)
(政策、役員協議、調整)
瀧澤匡則(弁ク)
(企画、研修)
松本直子(同友)
(総務)

企画委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 須藤 淳(弁ク)
委員 (同友) 小島 猛 河合利恵
(弁ク) 絹谷晴久 岩田耕一

幹事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
高田大輔 吉田倫太郎
(弁ク) 中川裕幸 小國泰弘
今堀克彦 奥川勝利
加藤和孝 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友)
委員 (同友) 高下雅弘 服部綾子
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

監事 永井義久(弁ク) 長内行雄(同友)

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲

研修委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 駒場大視
(弁ク) 関根武彦 美川公司

【令和2年度】

幹事長 吉村俊一(同友)

副幹事長 梶 俊和(弁ク)
(総務、政策)

笹川 拓(同友)
(企画、研修)

潮 太郎(弁ク)
(役協、調整)

幹事 (同友) 小川眞一 高田大輔
笹野拓馬 山下幸彦
松本直子 吉田倫太郎
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
奥川勝利 美川公司
小越一輝 河部康弘

監事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委員会
総務委員会
委員長 河部康弘(弁ク)
副委員長 河合利恵(同友)
委員 (同友) 関 大祐
(弁ク) 今堀克彦 加藤和孝
瀧澤匡則

政策委員会
委員長 吉田倫太郎(同友)
副委員長 權正英樹(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保

丸山英一 山崎高明
藤浪一郎

(弁ク) 山川茂樹 山本晃司
奥川勝利 加藤和孝
美川公司

企画委員会
委員長 小越一輝(弁ク)
副委員長 小島 猛(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会
委員長 高田大輔(同友)
副委員長 船津暢宏(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 山本晃司
絹谷晴久

調整委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委員 (弁ク) 絹谷晴久 山内輝和

研修委員会
委員長 山田武史(同友)
副委員長 永井 望(弁ク)
委員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 權正英樹

【令和3年度】

幹事長 井澤 幹(同友)

副幹事長 岸本達人(弁ク)
(総務、政策)

小國泰弘(弁ク)
(企画、研修)

茜ヶ久保公二(同友)
(役協、調整)

幹事 (同友) 小川眞一 田辺 恵
松本直子 吉田倫太郎
河合利恵
(弁ク) 今堀克彦 梶 俊和
權正英樹 瀧澤匡則
美川公司 小越一輝
河部康弘 三浦康浩

監 事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相 談 役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委 員 会
総務委員会
委 員 長 笹川 拓(同友)
副委員長 河部康弘(弁ク)
委 員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 村野直仁先生

政策委員会
委 員 長 今堀克彦(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委 員 (同友) 古谷史旺 小林 保
丸山英一 山崎高明
藤浪一郎 河部康弘
(弁ク) 船津暢宏 中川裕幸
山川茂樹 山本晃司
絹谷晴久 奥川勝利
瀧澤匡則 奥村光平

企画委員会
委 員 長 吉田倫太郎(同友)
副委員長 小越一輝(弁ク)
委 員 (同友) 松本直子
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会
委 員 長 関 大祐(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (同友) 高田大輔
(弁ク) 山川茂樹 權正英樹

調整委員会
委 員 長 梶 俊和(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委 員 (弁ク) 船津暢宏 權正英樹
美川公司

研修委員会
委 員 長 三浦康浩(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委 員 (同友) 荻 弥生
(弁ク) 永井 望

【令和4年度】

幹 事 長 中川裕幸(弁ク)

副幹事長 吉田倫太郎(同友)
(総務、政策)
茜ヶ久保公二(同友)
(企画、研修)
美川公司(弁ク)
(役協、調整)

幹 事 (同友) 田辺 恵 大橋剛之
関 大祐 高下雅弘
河合利恵
(弁ク) 瀧澤匡則 今堀克彦
梶 俊和 河部康弘
三浦康浩 權正英樹
小越一輝

監 事 小川眞一(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 吉田芳春
菊池新一 小川眞一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 丸山英一
石川 憲 小林正治
粕川敏夫
(弁ク) 古谷 馨 木下實三
永井義久 川久保新一
渡邊一平 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委員会

総務委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)

副委員長 笹川 拓(同友)

政策委員会

委員長 井澤 幹(同友)

副委員長 野崎俊剛(弁ク)

委員 (同友) 古谷史旺 小林 保

丸山英一 山崎高明

松本直子

(弁ク) 船津暢宏 山本晃司

山川茂樹 絹谷晴久

奥川勝利 瀧澤匡則

奥村光平 河部康弘

企画委員会

委員長 小越一輝(弁ク)

副委員長 坂岡範穂(同友)

委員 (同友) 坂口吉之助

(弁ク) 岩田耕一

役員協議委員会

委員長 井上 一(弁ク)

副委員長 吉村俊一(同友)

委員 (同友) 田辺 恵 大橋剛之

関 大祐

(弁ク) 権正英樹 潮 太郎

調整委員会

委員長 長内行雄(同友)

副委員長 船津暢宏(弁ク)

委員 (同友) 小林 保 丸山英一

粕川敏夫

(弁ク) 権正英樹 潮 太郎

研修委員会

委員長 三浦康浩(弁ク)

副委員長 谷口 登(同友)

委員 (同友) 荻 弥生

(弁ク) 永井 望

弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 ・ 本会は、弁理士連合クラブと称する。

(目 的)

第2条 ・ 本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 ・ 本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

(事務所)

第4条 ・ 本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

(入退会)

第5条 ・ 本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章 総 会

(総 会)

第6条 ・ 総会は、定時総会と臨時総会とする。
・ 定時総会は年2回2月、並びに8月、9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

(権 限)

第7条 ・ 総会は、次の事項を審議する。
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

(召 集)

第8条 ・ 総会は、幹事長が召集する。
・ 総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

(議長及び議事)

第9条 ・ 総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。
・ 議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章 役 員

(役 員)

第10条 ・ 本会に次の役員を置く。
1) 幹事長1人
2) 副幹事長若干人
3) 幹事若干人
4) 監事若干人
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

(幹事会)

第11条 ・ 幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。
・ 会務の執行は、幹事会がこれを決する。
・ 議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。
第11条の2 ・ 幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

(幹事長)

- 第12条
- ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
 - ・幹事長は、本会を代表する。
 - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

(報告等)

- 第13条
- ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

(監 事)

- 第14条
- ・監事は、本会の財務を監査する。

第4章 委員会

(委員会)

- 第15条
- ・本会に次の委員会を置く。
 - 1) 総務委員会
 - 2) 政策委員会
 - 3) 企画委員会
 - 4) 役員協議委員会
 - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

(委員選任)

- 第16条
- ・委員は、幹事会において選任する。
 - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
 - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

(正副委員長)

- 第17条
- ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
 - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。
但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
 - ・委員長は委員会を代表する。
 - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

(委員会の会議)

- 第18条
- ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

(委員会の職務)

- 第19条
- ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
 - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
 - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
 - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
 - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第5章 相談役及び顧問

(相談役及び顧問)

- 第20条
- ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
 - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
 - ・相談役は相談役会を構成する。
 - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
 - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

第6章 会 計

(会計年度)

第21条 ・ 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

(特別会計)

第22条 ・ 日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

(経 費)

第23条 ・ 本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

(監査報告)

第24条 ・ 監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第7章 規則の制定

(規則の制定)

第25条 ・ 幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第8章 会則等の改正

(会則の改正)

第26条 ・ 本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

(規則の改正)

第27条 ・ 規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。
11. この会則の一部改正は、令和2年9月2日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付 則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

(目 的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

(対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

(基 準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年 6 口
2. 同 副会長又は同経験者……………年 2 口
3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年 4 口
4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年 1 口
5. 本会の幹事長又は同経験者……………年 3 口
6. 同 副幹事長又は同経験者……………年 1 口

1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

(適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

(求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議
・平成12年度第2回総会（平成13年 1 月25日開催）にて報告
・平成12年度第8回幹事会（平成13年 3 月29日開催）で、第 6 条の追加を決議

編集後記

本年度も多くの先生方にご執筆いただきまして、機関誌「連合」No.34を発行することができました。お忙しい合間を縫って、ご寄稿いただきました先生方には深く感謝申し上げます。特に、日本弁理士会会長の鈴木一永先生、日本弁理士クラブ幹事長の本多敬子先生、西日本弁理士クラブ幹事長の藤田典彦先生には、お忙しい中、機関誌「連合」への「ご挨拶」を賜り、深く御礼申し上げます。

しばらく中止されていた旅行会も昨年度から再開されました。今年はコロナ禍以降で初めて制限なしで開催できました。懇親会はBBQでしたが、ご参加いただきました先生の数100名を超えます。私の知り得る限り、この数はここ10年で最大です。大盛況だったと言ってよいのではないのでしょうか。また、旅行会では、新しい試みとして初日に観光を追加致しました。浜松駅に集合した後、浜松城、グルメパーク（ランチ）、浜松航空自衛隊エアパークを順に巡って宿泊先に向かう観光です。こちらにも30名近くの先生が参加してくださいました。もちろん、2日目の観光、及びゴルフもありました。旅行会では、久しぶりに自由な交流を楽しんでいただけたのではないかと考えております。

今回の機関誌「連合」も昨年度までと同様に電子版として発行される予定です。振り返ると、機関誌「連合」の初回電子版（No.25）の発行に私は関わっておりました。それから既に9年。電子版の機関誌「連合」が定着していることを嬉しく思う反面、時間の過ぎるのは早いものだなと感じずにはいられません。“人は1年でできることを過大評価しすぎる。そして10年でできることを過小評価しすぎる”という言葉聞いたことがあります。この言葉を聞いたとき、たとえ1年、1年が短く感じられたとしても、その1年を侮ってはいけないなと感じた記憶があります。No.34が皆様のお手元に届く頃には新年を迎えているものかと思います。今年も皆様にとって充実した1年になることを祈念しております。

最後になりましたが、幹事長の梶俊和先生、担当副幹事長、兼企画委員長の笹野拓馬先生、企画委員会の皆様（坂岡範穂先生、坂田樹先生、小國泰弘先生、櫻田賢先生）には、本機関誌発行にあたり多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 小田原 敬一）

弁理士連合クラブ会報

連 合

No.34

令和6年3月 吉日

発 行 弁理士連合クラブ
編 集 弁理士連合クラブ企画委員会
制 作 (株)文寿堂
Tel.03 (3948) 6631

弁理士連合クラブ